

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

< 第33週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第30週からは減少しているが、相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示している / その他最新動向

< 7月 > 性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-11

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第33週の現段階での報告数は201例で、1週間の報告数としては第29、31、32週に次いで多かった



病原体情報
P.12-13

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年 / ヒトから検出されているアデノウイルス3型&2型 2004年 / ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年



速報
P.14-15

多様な診断名の検体からのアデノウイルス3型の検出 - 岩手県 / 髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離 - 福島県



海外感染症情報
P.16-17

トリインフルエンザ: 中国でブタからH5N1を検出 / チャドでのE型肝炎 / ベトナムでのトリインフルエンザの状況 / 中国での2004年第2四半期法定伝染病報告・死亡統計



感染症の話
P.18

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(33週)
P.19-25



グラフ総覧(7月)
P.26-30



7月のデータ
P.31-34



33週のデータ
P.35-44



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第33週コメント> 8月19日集計分

全数報告の感染症

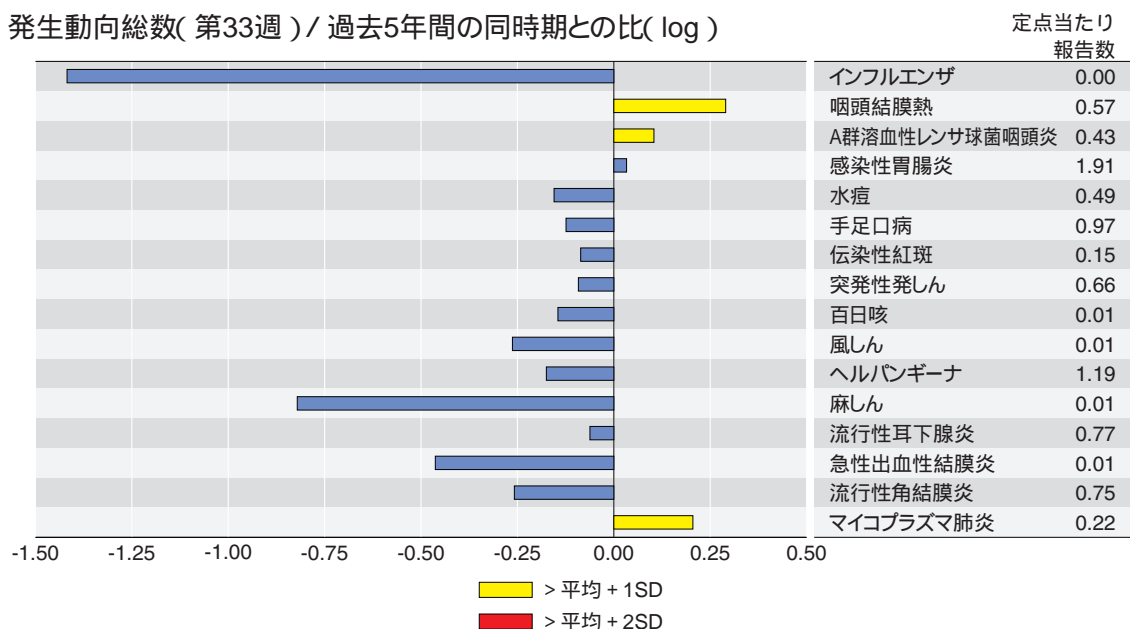
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ 1例(推定感染地域: インド)
細菌性赤痢 29例(推定感染地域: 国内2例、モンゴル13例、インド3例、インドネシア2例、タイ2例、ベトナム2例、カンボジア/ベトナム2例、中国1例、トルコ1例、インド/ネパール1例)
腸チフス 2例(推定感染地域: フィリピン1例、インドネシア1例)
パラチフス 2例(推定感染地域: インド1例、インドネシア1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 201例(うち有症者122例)
報告の多い都道府県: 三重県(28例)、神奈川県(16例)、宮城県(14例)、群馬県(14例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(66例)、O157 VT2(64例)、O26 VT1(44例)、O157 VT1(5例)、O111 VT1・VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O111 VT1(1例)、O103 VT1(1例)、O119 VT1(1例)、O127 VT1(1例)、その他(15例)
年齢: 10歳未満(97例)、10代(17例)、20代(16例)、30代(31例)、40代(17例)、50代(4例)、60代(9例)、70歳以上(10例)
- 4類感染症: デング熱 3例(推定感染地域: いずれもミクロネシア)
日本紅斑熱 2例(徳島県、宮城県)
マラリア 2例
三日熱 1例(推定感染地域: ペルー/ブラジル/アルゼンチン)
熱帯熱 1例(推定感染地域: フィリピン)
レジオネラ症 1例(66歳)
A型肝炎 1例(推定感染地域: 国内)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 6例(推定感染地域: 国内5例、ネパール1例、推定感染経路: 経口感染1例、性的接触1例、不明4例)
ウイルス性肝炎 2例 B型1例(推定感染経路: 性的接触)
C型1例(推定感染経路: 不明)
クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80歳、死亡)
後天性免疫不全症候群 11例(無症候8例、AIDS 3例)
推定感染経路: 性的接触8例(異性間4例、同性間3例、異性間/同性間1例)、不明3例
推定感染地域: 国内9例、タイ1例、不明1例
ジアルジア症 3例(推定感染地域: 国内2例、インド1例)
髄膜炎菌性髄膜炎 1例(推定感染地域: 国内)
梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候2例)
急性脳炎 1例(病原体: 単純ヘルペスウイルス(51歳))
(補)他に梅毒1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、急性脳炎1例(病原体不明(58歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第33週) / 過去5年間の同時期との比(log)

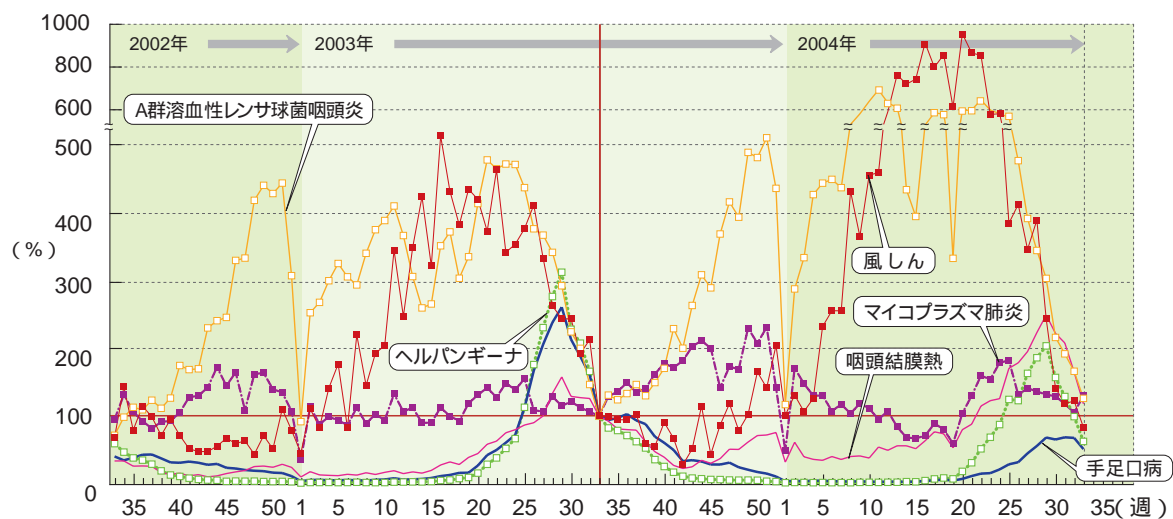


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。しかし相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示しており、都道府県別では福井県(2.6)、高知県(1.7)、宮崎県(1.6)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では宮崎県(1.2)、富山県(1.1)、鳥取県(1.1)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いた後、第31週からはほぼ横ばいで推移したが、第33週は減少した。都道府県別では福井県(6.5)、大分県(5.3)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加した後、第30週からはほぼ横ばいで推移したが、第33週は減少した。都道府県別では大分県(4.1)、福岡県(2.9)、北海道(2.8)、佐賀県(2.8)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では14都府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、第26週を除き、第20週から第29週まで増加し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では秋田県(4.2)、青森県(3.2)、宮城県(3.2)、富山県(3.2)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週と同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。10都道府県から報告があったが、いずれも0.2以下であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて30都道府県から報告がなされ、報告数は合計19例であった。

基幹定点報告疾患：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第20週から増加傾向が認められた後、第25週をピークに減少傾向が認められていたが、第33週は増加した。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では群馬県(1.1)、山口県(1.1)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第33週)



2003年第33週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。

7月コメント

性感染症について(8月10日集計分) 性感染症定点数: 921

2004年7月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.87(男1.65、女2.22)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.92(男0.36、女0.57)、尖圭コンジローマが0.67(男0.35、女0.33)、淋菌感染症が1.78(男1.44、女0.34)で、4疾患のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった(図1)。女性の性器ヘルペスウイルス感染症を除くと、前月に比べ、増加または横ばいである。(26 ~ 29ページグラフ総覧参照)。過去5年間の同時期と比較すると、尖圭コンジローマが男女で、および性器ヘルペスウイルス感染症が女性で、平均 + 2標準偏差(SD)を越えた。一方、性器ヘルペスウイルス感染症が男性では平均 + 1SD下回った(図2)。

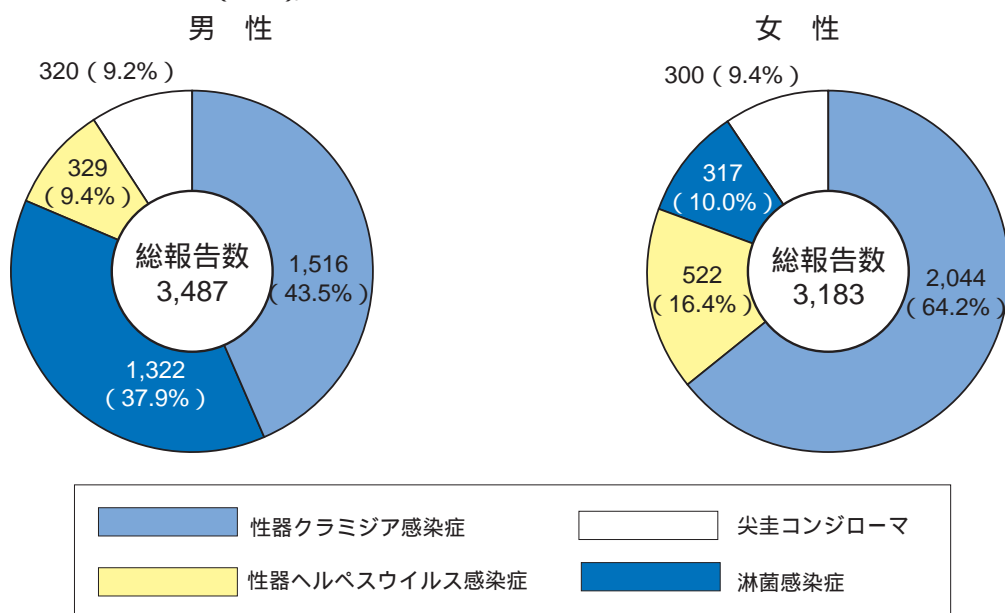
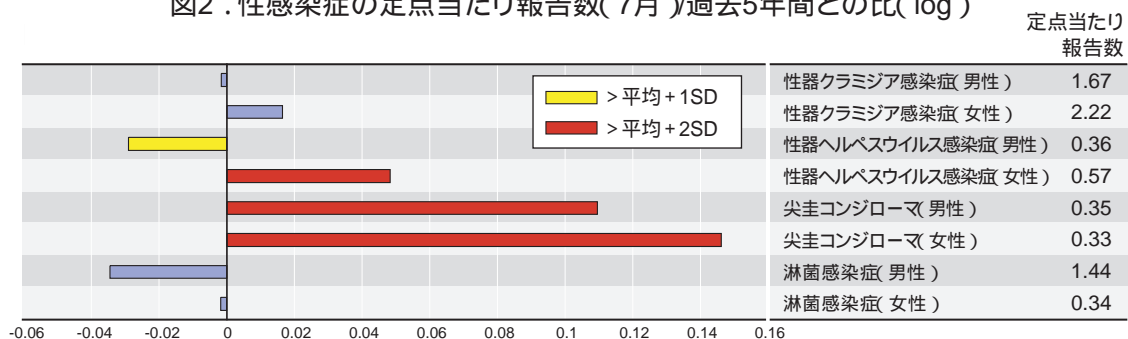


図1 . 各性感染症が総報告数に占める割合(7月)

図2 . 性感染症の定点当たり報告数(7月)過去5年間との比(log)



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると、いずれの疾患でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では50代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図3)。淋菌感染症では男性の占める割合が高いが、他の3疾患では若年齢層で女性の報告者数の方が多い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各性感染症の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。7月の報告では、性器クラミジア感染症および淋菌感染症が男女ともに増加している。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細はIDWR週報2000年第46号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の年齢階級別・性別グラフ(7月)

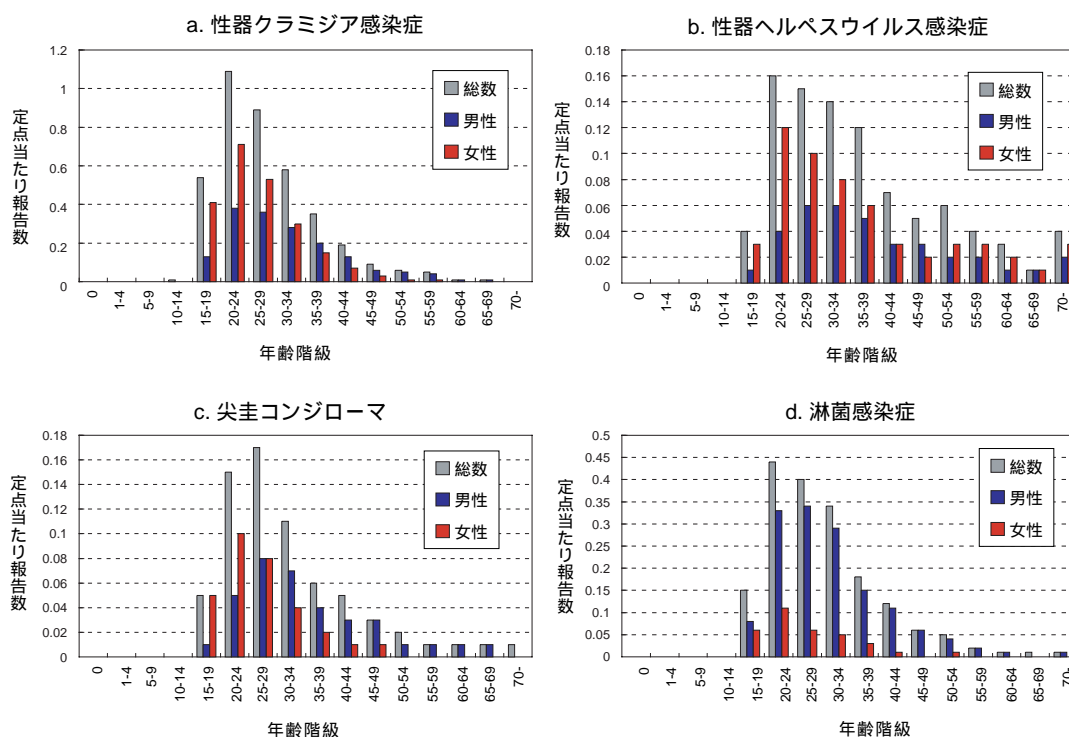
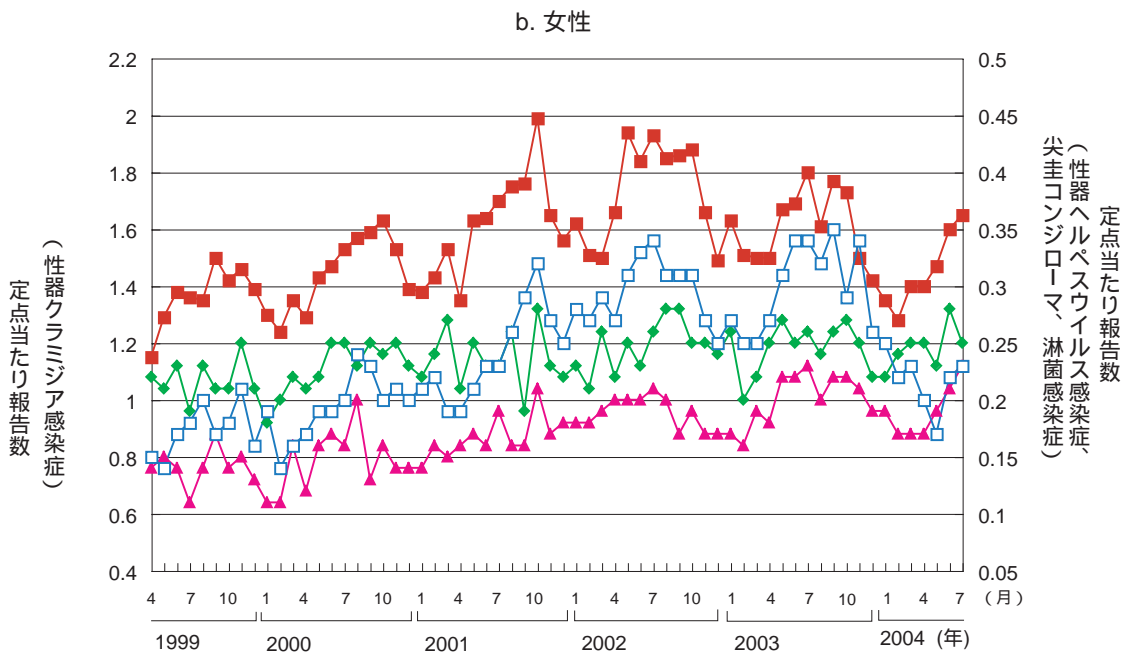
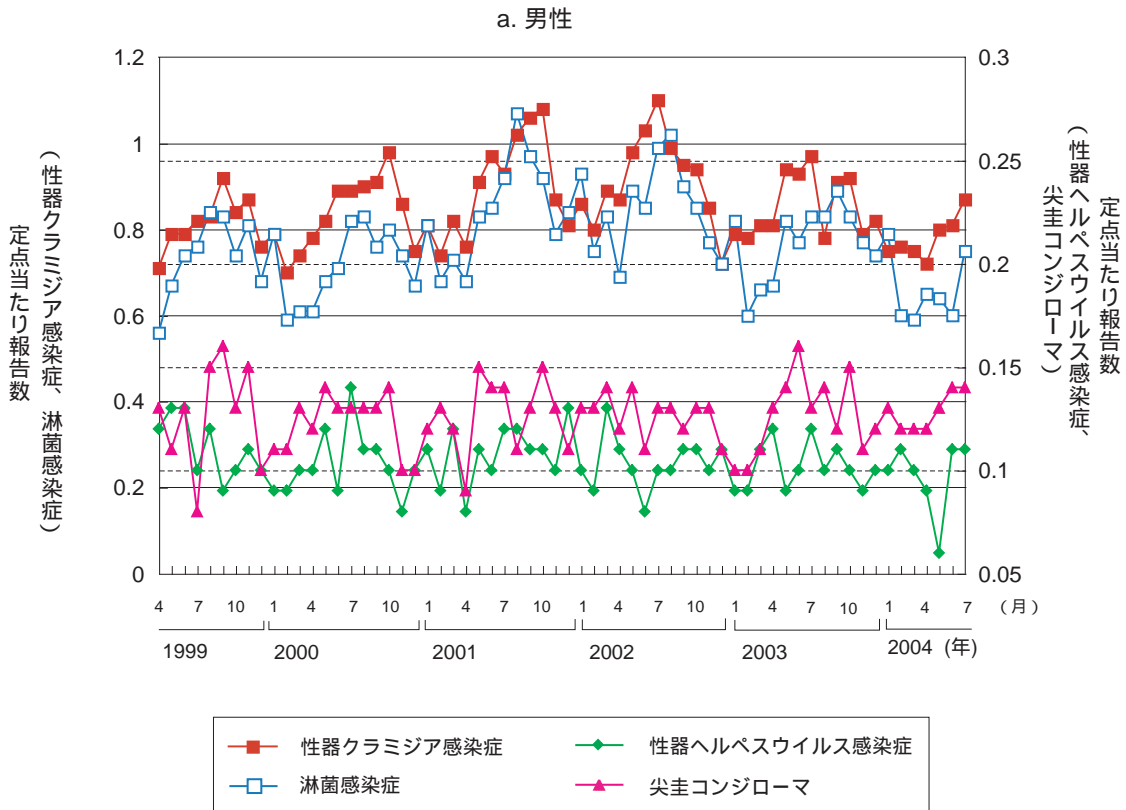


図4 . 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数 (15 ~ 29歳)



薬剤耐性菌感染症について(8月10日集計分)

7月の定点(基幹定点)総数 : 469

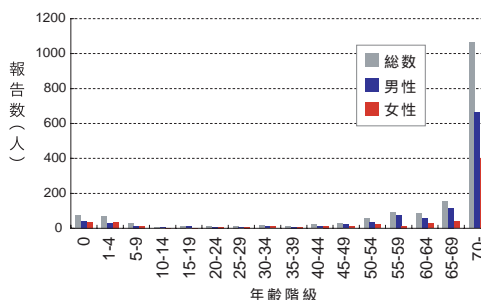
[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

3.76(前月: 3.93、前年同月: 3.93)

月別には年間を通してほぼ一定の報告数で、年別には微増傾向が認められている。7月の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同月との比較では、過去2年間に次いで多かった。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

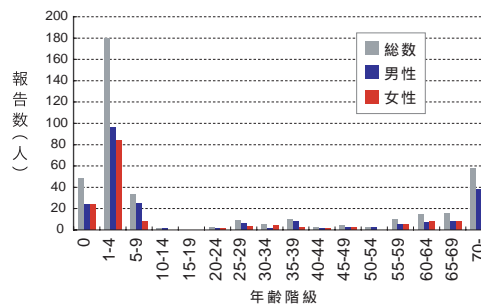


ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

0.84(前月: 1.33、前年同月: 0.96)

過去には、春から初夏にかけて(4 ~ 6月)と冬(11、12月)に多く推移していたが、2004年は1月から6月までほぼ一定の報告数で推移した。しかし、7月の定点当たり報告数は過去と同様に減少を示し、過去5年間の同月との比較では、過去3年間より少なかった。

図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

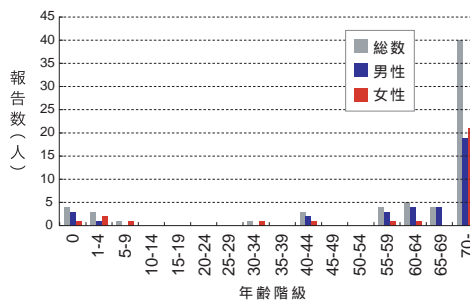


薬剤耐性緑膿菌感染症

0.14(前月: 0.12、前年同月: 0.15)

年間を通じてほぼ一定の報告数である。7月の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同月との比較では、2003年、1999年に次いで多かった。

図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



[年齢階級別]

MRSA感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の69%(70歳以上が60%)を占めている。

PRSP感染症...小児に多く、10歳未満が全体の66%(5歳未満が58%)を占めている。また高齢者にも多く、65歳以上が全体の19%(70歳以上が15%)を占めている。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く、65歳以上が全体の68%(70歳以上が62%)を占めている。

[性別] (女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症...1.7/1

PRSP感染症...1.3/1

薬剤耐性緑膿菌感染症...1.2/1

[都道府県別]

MRSA感染症...定点当たり報告数は富山県(8.4)、奈良県(8.0)が多い。

PRSP感染症...定点当たり報告数は千葉県(7.4)、富山県(4.4)が多い。

薬剤耐性緑膿菌感染症...定点当たり報告数は宮城県(0.8)、岩手県(0.5)、香川県(0.5)が多い。

結核サーベイランス月報(8月25日集計分)

7月の新登録患者数は2,742人(男性1,727人、女性1,015人)で、このうち活動性肺結核患者は2,206人(うち喀痰塗抹陽性者は1,027人)であった。

都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(309人)、大阪府〔大阪市を除く〕(180人)、大阪市(169人)、千葉県〔千葉市を除く〕(121人)、埼玉県〔さいたま市を除く〕(114人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は486人、非定型抗酸菌陽性者数は259人であった。

*マル初者...結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第33週の現段階での報告数は201例で、1週間の報告数としては第29、31、32週に次いで多かった(図1)。また、第33週までの累積報告数は2,096例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年3,033例、2002年2,175例、2003年1,352例)と比較すると、2002年の状況に近い。第33週までの累積報告数を都道府県別にみると、東京都(166例)、石川県(160例)、大阪府(131例)、岡山県(131例)が多い(図2)。第33週に限ると、三重県(28例)、神奈川県(16例)、宮城県(14例)、群馬県(14例)が多く(図3)、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例であるが、三重県、神奈川県、宮城県からの報告の多くは、いずれも保育所での集団発生に関連したものであった。

第33週までの累積報告数を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 707例(34%)、O157 VT2 486例(23%)、O26 VT1 416例(20%)の順に多い。また、年齢群別(0 ~ 69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満847例、10代356例、20代278例、30代186例、40代115例、50代126例、60代89例、70歳以上99例となっている。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は第33週に3例報告があり、本年の累積は29例となった。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(15例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111VT1・VT2(1例)、その他2例であった。また、年齢群別では10歳以下が22例(うち、5歳以下は18例)、10代1例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性9例、女性20例と女性に多かった。また、死亡例は第33週に1例報告され、本年報告されている死亡例は3例(70代女性、2歳女性、3歳女性)となったが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告のピークは夏季にあるので、一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、夏季には簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

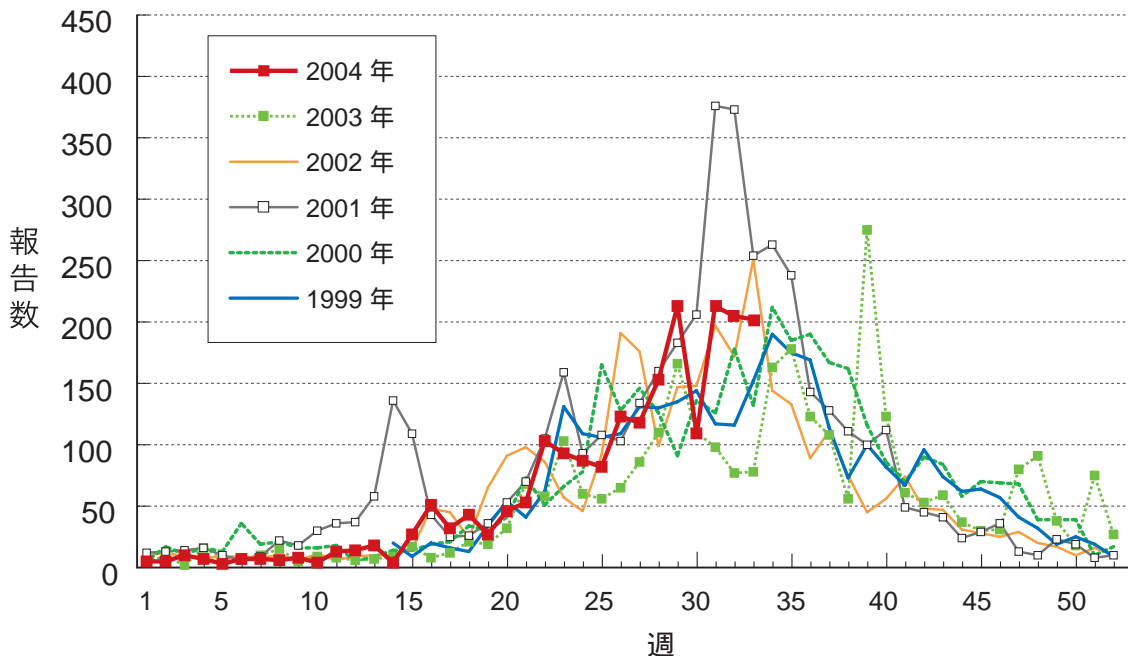


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 33週の累積)

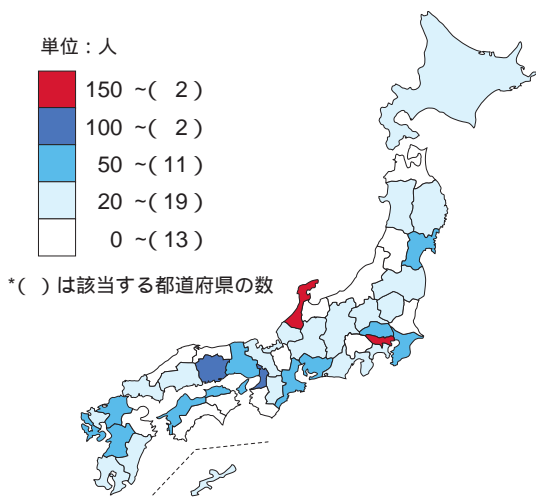
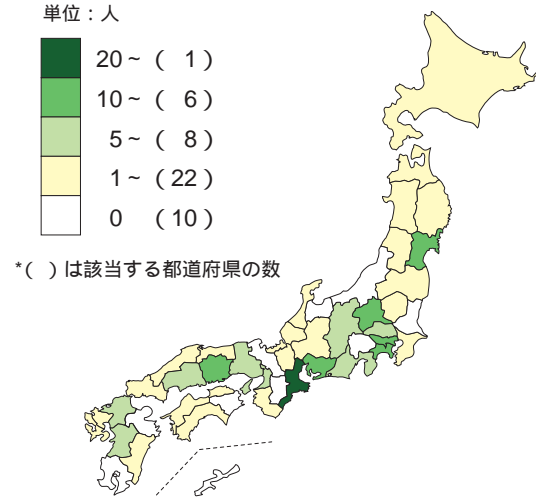


図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第33週のみ)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

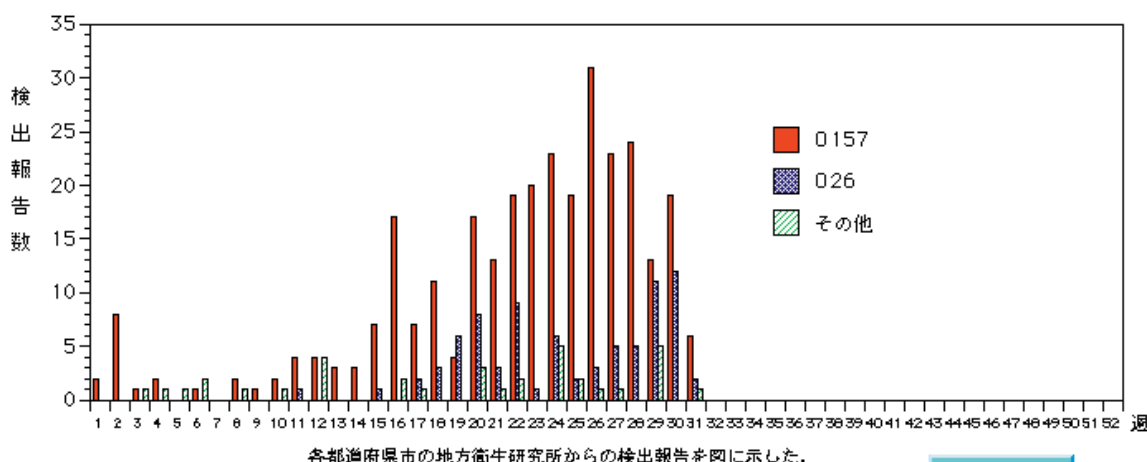
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年8月20日現在報告分)

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年

本年(2004年)の検出総数は425件で、うちO157が306件、O26が80件、その他の血清型が39件報告されている。第26~31週(6/21~8/1)の週別報告数は、O157が31、23、24、13、19、6、O26が3、5、5、11、12、2である。第26~30週(6/21~7/25)では、O157が大阪府17、岐阜県14、福岡県15、京都府10など、O26が宮城県24(うち12件は保育所で起きた集団発生事例からの報告)、福島県3、兵庫県3などから報告されている。第31週(7/26~8/1)では、O157が茨城県から4件(VT1&2が3件、VT2が1件)、東京都から1件(VT1&2)、徳島県から1件(VT1&2)、O26が北海道から1件(VT1)、福島県から1件(VT1)、いずれも散発または家族内事例からの検出報告である。この他に、福岡県からOUT(O型別不能)が1件(VT1)報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2004年 (病原微生物検出情報: 2004年8月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヒトから検出されているアデノウイルス3型&2型 2004年

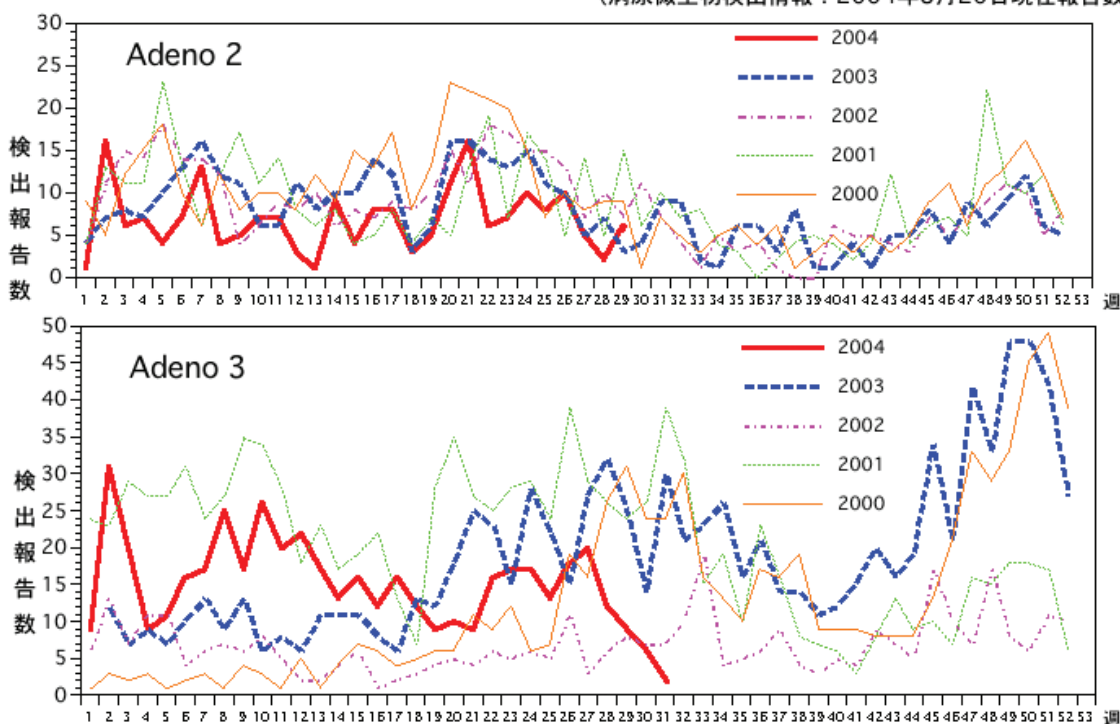
昨年(2003年)の夏から冬に増加したアデノウイルス3型(Ad3)の検出は、本年(2004年)に入っても目立っており、第1~31週に北海道から宮崎までの32都道府県から459件が報告されている(広島県79、愛知県40、北海道39、岩手県38(本号速報記事参照)、兵庫県37など)。

ほとんど(404)は咽頭ぬぐい液から検出されており、その他に糞便42、結膜ぬぐい液23、喀痰・気管吸引液2、尿1、Ad3検出例の主な診断名は上気道炎190(41%)、咽頭結膜熱107(23%)、インフルエンザ47(10%)、下気道炎23(5%)、流行性角結膜炎17(4%)、感染性胃腸炎15(3%)である。年齢は4歳77、3歳69、5歳56、2歳55の順で、0~5歳が325(71%)、4歳をピークとして乳児~学童までの幅広い年齢から検出されている。

Ad2は、Ad3に次ぐ198件が報告されている。ほとんどが咽頭ぬぐい液(182)からの検出で、主な診断名は上気道炎63(32%)、咽頭結膜熱35(18%)、インフルエンザ23(12%)とAd3と同様であるが、年齢は1歳83(42%)が最も多く、0~3歳が159(80%)と乳幼児からの検出が多数を占めている。

週別アデノウイルス2型&3型検出報告数、過去4年間との比較、2004年

(病原微生物検出情報：2004年8月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年

本年(2004年)は、ほとんどがA群コクサッキーウイルス(CA)型の報告であり、これまでに16都府県から計95件が報告されている。大阪府25(IDWR2004年第31号11ページ速報記事参照)、愛知県24、愛媛県8、奈良県7、島根県5、徳島県5などからの報告が多い。次いでCA2が15件(秋田県8、神奈川県3、愛媛県、福岡県、島根県、熊本県各1)、CA6が7件(長野県4、神奈川県3)、昨年(2003年)最も報告の多かったCA10は高知県から1件報告されているのみである。この他に、B群コクサッキーウイルス(CB)が6件(4型2、5型2、1型1、3型1)、エコーウイルス(E)が4件(6型2、7型2)報告されている。



多様な診断名の検体からのアデノウイルス3型の検出 - 岩手県

2004年6～7月にかけて、岩手県内の小児科定点3カ所(いずれも盛岡地区)、および眼科定点1カ所(一関地区)において採取された36症例の患者の検体から、アデノウイルス3型(Ad3)が検出された。検出された検体は患者の咽頭ぬぐい液(33検体)、糞便(3検体)、結膜ぬぐい液(2検体)、および尿(1検体)であり、3症例については2種類の検体から検出された。検出されたAd3はすべてCaCo-2細胞、HEp-2細胞で分離されたが、一部はRD-18S細胞、Vero細胞にも感受性を示した。中和試験は、デンカ生研製アデノウイルス単味抗血清を用いて行った。

これまでの当県におけるアデノウイルスの月ごとの検出は散発的で、検出された月でも数株程度であったが、本年6月(17症例)および7月(19症例)にはAd3の検出が急増した。Ad3が検出された検体の臨床診断名および年齢別症例数については、36症例のうち27症例(75%)が上気道炎(咽頭炎、扁桃腺炎)で、上気道炎の症例の患者年齢は3歳をピークとし、0～5歳が82%を占めていた。また、下気道炎(肺炎、気管支炎)は1～3歳の5症例(14%)のみであった。36症例の臨床症状をみると、発熱(95%)、上気道炎(78%)を呈する症例が多く、次いで下痢(27%)、気管支炎(16%)、結膜炎(16%)、嘔吐(11%)、肺炎(8.1%)、発疹(5.4%)、血尿(2.7%)であった。

岩手県においては、小児科におけるアデノウイルスやエンテロウイルスの流行状況を把握する目的で、上気道炎および発疹症も対象として発生動向調査病原体検査を実施している。患者情報によると、岩手県における咽頭結膜熱の患者数は第25週以降増加し、第32週現在も、過去の同時期と比べて最高のレベルで推移している。今回Ad3が検出された症例の中では咽頭結膜熱は1例のみであったため、咽頭結膜熱の流行との関係は確認できなかった。今後のAd3の検出動向とともに、咽頭結膜熱の患者発生動向にも注目したい。

岩手県環境保健研究センター

高橋朱実 藤井伸一郎 佐藤 卓 齋藤幸一 田澤光正

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

髄膜炎患者からのエコーウイルス30型の分離 - 福島県

2004年3月中旬～7月初旬にかけて髄膜炎(34症例) および咽頭炎/発疹症(1症例)の患者35症例(3月3、5月8、6月18、7月6)由来の臨床材料からエコーウイルス30型(E30)が検出された。35名中2名は県中地域の郡山市在住の患者であるが、他は中通り地方の南端に位置する白河市、およびその周辺在住の患者であった。この県南地域についてみると、3月に2例発生した後、2カ月間患者が発生していなかった。このことについて、ウイルスがこの地域から一度消失して、再度侵入したことによるものかどうかは不明である。35症例中2症例については住所地が同一であることが確認されたが、その他にも、記載は無いものの、兄弟などと思われる例が数組みられた。年齢は4～14歳に分布していたが、7歳以下が全体の7割近くを占めていた(24/35、69%)。男女比は26:9で、男子の罹患者が多かった。35症例の臨床症状は頭痛、嘔吐を主とし、その他に腹痛、下痢がみられ、咽頭炎、発疹を呈する者もみられた。記載のあった発熱については、37 台が3名、38 台が15名、39 台が11名であった。

35症例由来の臨床材料(咽頭ぬぐい液3、直腸ぬぐい液2、髄液34)をRD-18S、HEp-2、Vero、およびLLC-MK2の4種細胞に接種したが、39件すべての検体からのウイルスは効率良く増殖し、早いもので接種後5日目から、遅くても2代培養終了時点(14日目)までに、RD-18S細胞とHEp-2細胞に明瞭なCPEが出現した。LLC-MK2細胞にCPEを示す株もみられたが、他の2つに比較すると判定しにくく、曖昧な印象を受けた。CPEは、細胞の小円形化が細胞全面に波状的に進行した後溶解していくのが認められ、HEp-2細胞では細胞の集塊化が観察された。3代培養したウイルス液の力価は、 $10^6 \sim 10^7$ TCID₅₀ / 25 μ lの範囲にあった。感染研より分与されたEP95とデンカ生研の単味抗血清を用いて中和試験を行ったところ、一部ヘテロ抗血清(EP2)による増殖抑制を示す株もみられたが、単味抗血清では完全に中和された。

上記35名の他に、7月中に採取された髄膜炎患者11名由来の検体から、RD-18S細胞とHEp-2細胞にE30類似のCPEを示すウイルスが分離されており、現在同定中である。

福島県における過去のE30分離状況をみると、1997(平成9)年に199症例から分離された後は大きな流行がなかったが、今は流行から7年程度経過しており、E30に対する感受性が高い状態にあるものと思われる。特に、今後7歳以下での患者が増加することが懸念されるため、県の感染症週報を通じて関係機関に情報を提供し、注意を喚起した。

福島県衛生研究所・微生物グループウイルス検査室

慶野昌明 金成篤子 水澤丈子 結城智子 三川正秀 渡部啓司

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

トリインフルエンザ: 中国でブタからH5N1を検出

WHO/CSR 2004年8月20日

中国のハルビン(哈爾濱)獣医学調査研究所は本日、中国の一部の農場のブタがH5N1株に感染していたことを示す最初の証拠を発表した。この発見は、北京で開催されたSARSとトリインフルエンザに関する国際シンポジウムで発表された。

チャドでのE型肝炎

WHO/CSR 2004年8月19日

WHOおよび保健省の合同チームによって、2004年6月26日から8月13日の間にスーダン人難民キャンプの1つであるGoz Amerで、死亡者21名を含む急性黄疸症候群の患者672名が報告された。パリにあるVal de Grace研究所で、E型肝炎ウイルスに対する抗体が7検体で確認された。

スーダンの広域Darfur地域内の国内難民(IDP)でも、同様のE型肝炎流行が確認されている。いずれの流行も、国境の両側にあるチャドの難民キャンプとスーダンのIDPキャンプでの安全な飲料水の不足と劣悪な衛生環境が原因となっている。

WHO、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、および現地で活動するNGOは、飲料水の塩素消毒、排泄物の安全な処理、共同体の保健教育を含む制圧対策の実施と、感染症サーベイランスの強化について保健省を支援している。WHOは、流行制圧活動を補強し、さらに疫学調査を実施するために、様々な領域の専門家から成るチームを流行地区へ派遣することを計画している。

ベトナムでのトリインフルエンザの状況

WHO/CSR 2004年8月18日

先週初めて報告された3名の死亡者は、トリインフルエンザに感染していたことが検査により確認された。2名は北部、1名は南部から報告された。3名のうち2名は、検査によりH5N1株と同定された。最後の患者は8月6日に死亡しており、それ以後新規患者は確認されていない。

ベトナム保健省の支援により、これらの患者検体をWHOグローバルインフルエンザサーベイランスネットワークの検査機関に送付するよう調整中である。公衆衛生上のリスク評価を速やかに行うため、検査では遺伝子配列の解読や他の分析を行う予定である。

検査により、3名が感染したウイルスに遺伝子変異が起きているかどうか明らかになる見込みである。これは特に、H5N1ウイルス株が依然としてトリ由来のみであるかどうかの判断に重要である。

今週はじめに開催された会議の後に、ベトナムの保健当局は、トリインフルエンザの検体を検査する能力のある2カ所の国立研究所とWHOが密接に協力するよう求めた。これはハノイの国立衛生疫学研究所と、ホーチミン市のパスツール研究所である。この協力により、調査が必要になるかも知れない新たな患者の検査結果を共有することが促進されると期待される。

WHOの小チームが週末中、ベトナムに派遣される予定である。このチームは公衆衛生上のリスクを評価し、ヒト患者発見のためのサーベイランス能力を強化する計画を策定するために、保健省と密接に活動を行う。

中国での2004年第2四半期法定伝染病報告・死亡統計

中国衛生部

<http://www.moh.gov.cn/uploadfile/200408/20048171102252.doc>

疾患名	患者数	死亡数
ペスト	1	0
コレラ	18	1
肝炎	345,161	288
A型	26,532	11
B型	275,595	207
C型	10,833	23
E型	5,066	10
型不明	27,135	37
赤痢(細菌性、アメーバ性)	123,889	40
腸チフス、パラチフス	13,479	4
AIDS	783	122
淋菌感染症	62,228	2
梅毒	23,980	10
ポリオ	0	0
麻疹	31,446	11
百日咳	1,673	1
ジフテリア	2	0
髄膜炎菌性髄膜炎	1,076	51
猩紅熱	6,884	0
腎症候性出血熱	7,454	46
狂犬病	636	465
レプトスピラ症	73	3
ブルセラ症	4,632	1
炭疽	137	1
発疹チフス	780	0
日本脳炎	412	23
リーシュマニア症	83	0
マラリア	8,135	11
デング熱	2	0
新生児破傷風	700	55
肺結核	303,600	328
SARS	9	1
合計	937,273	1,464



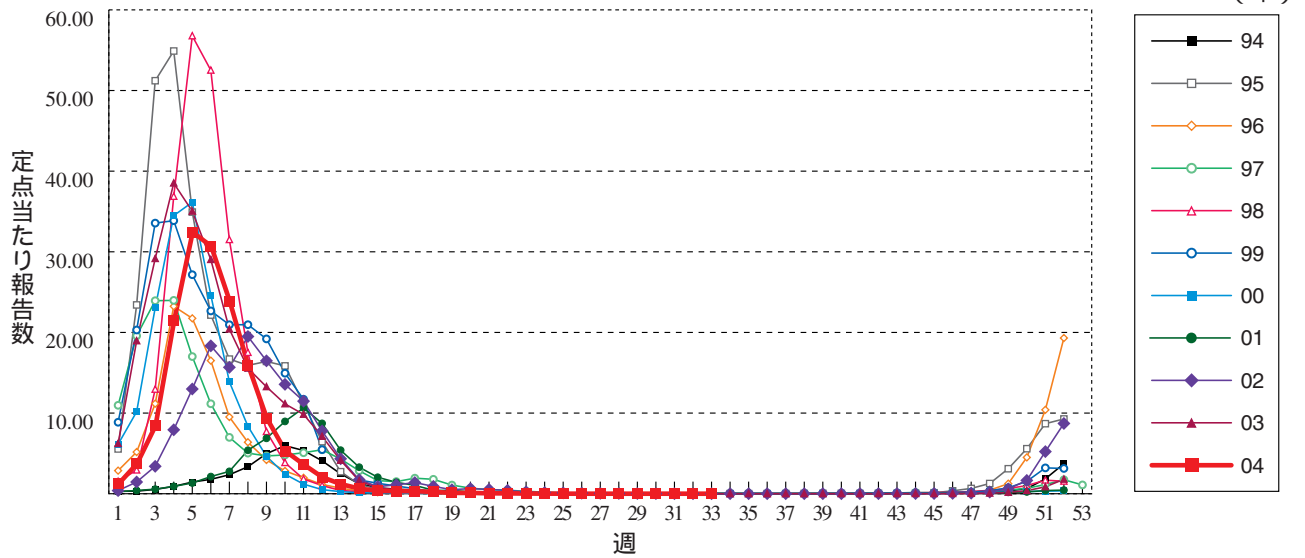
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

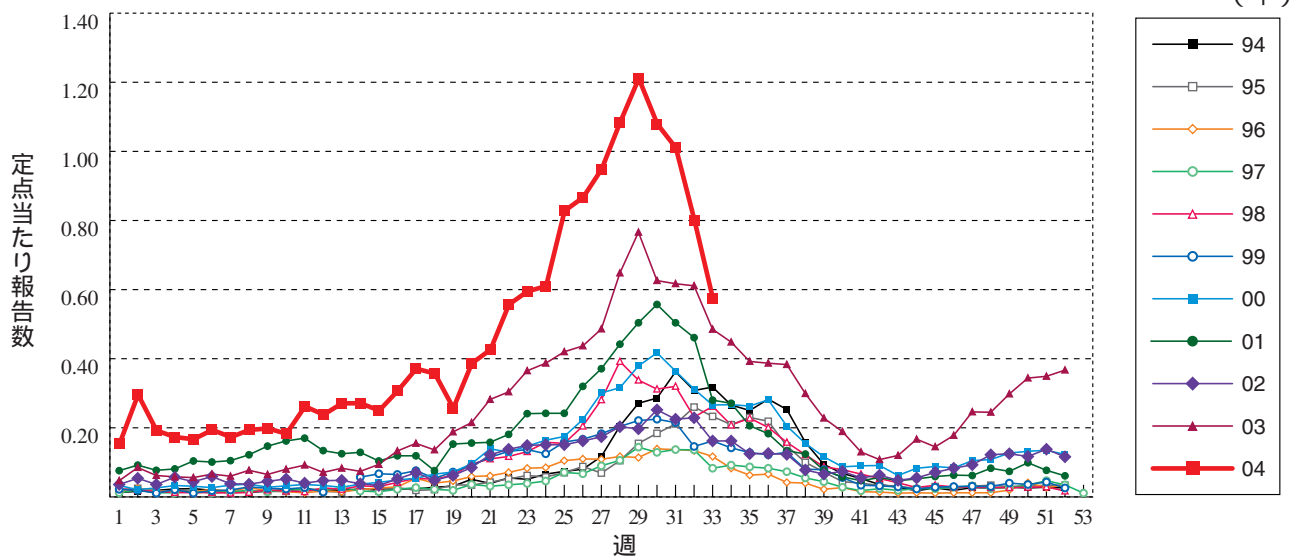


グラフ総覧(33週)

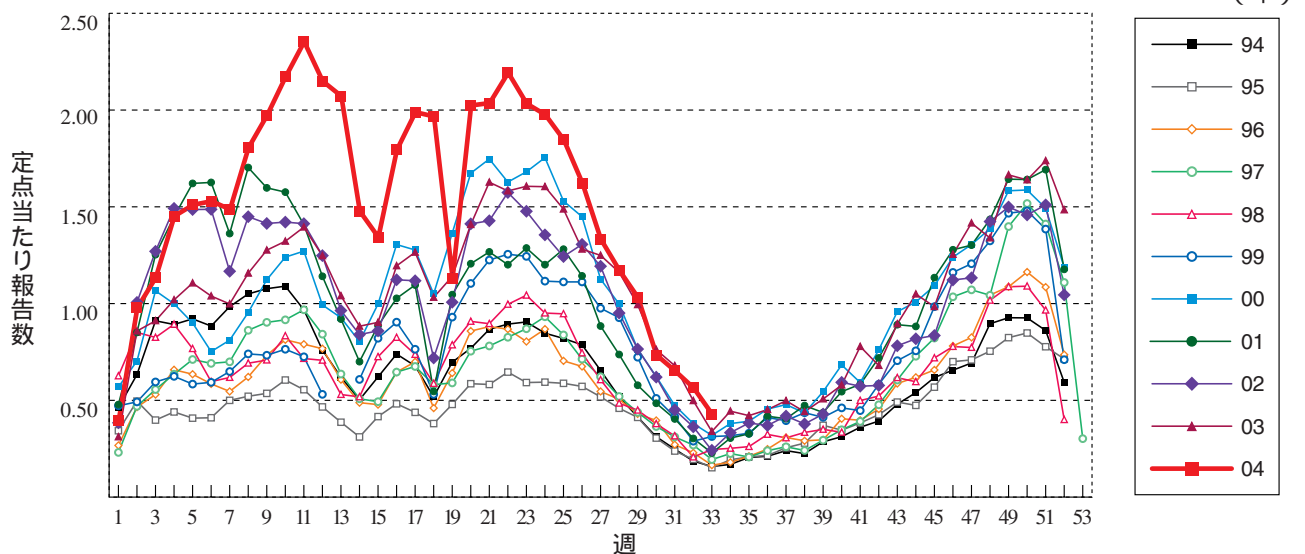
インフルエンザ



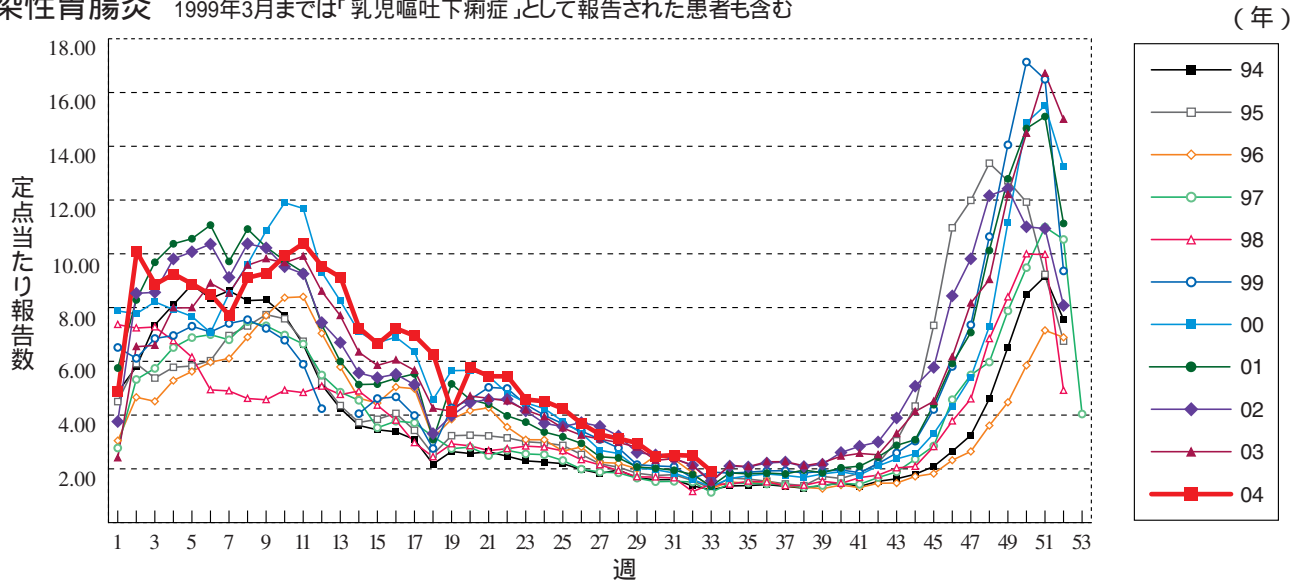
咽頭結膜熱



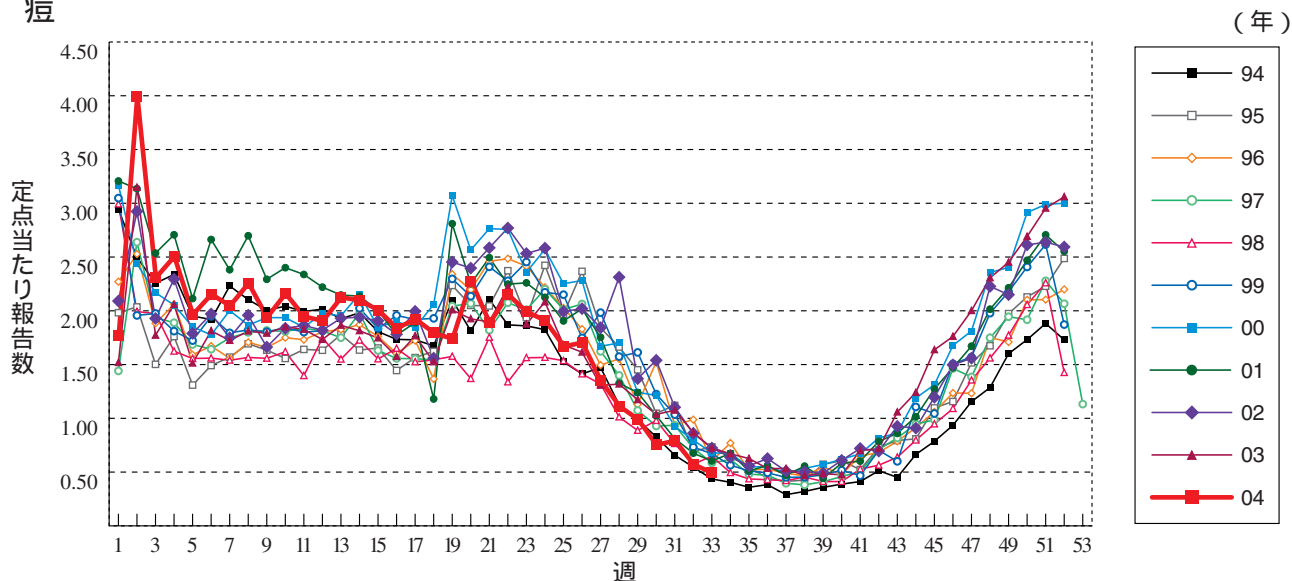
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



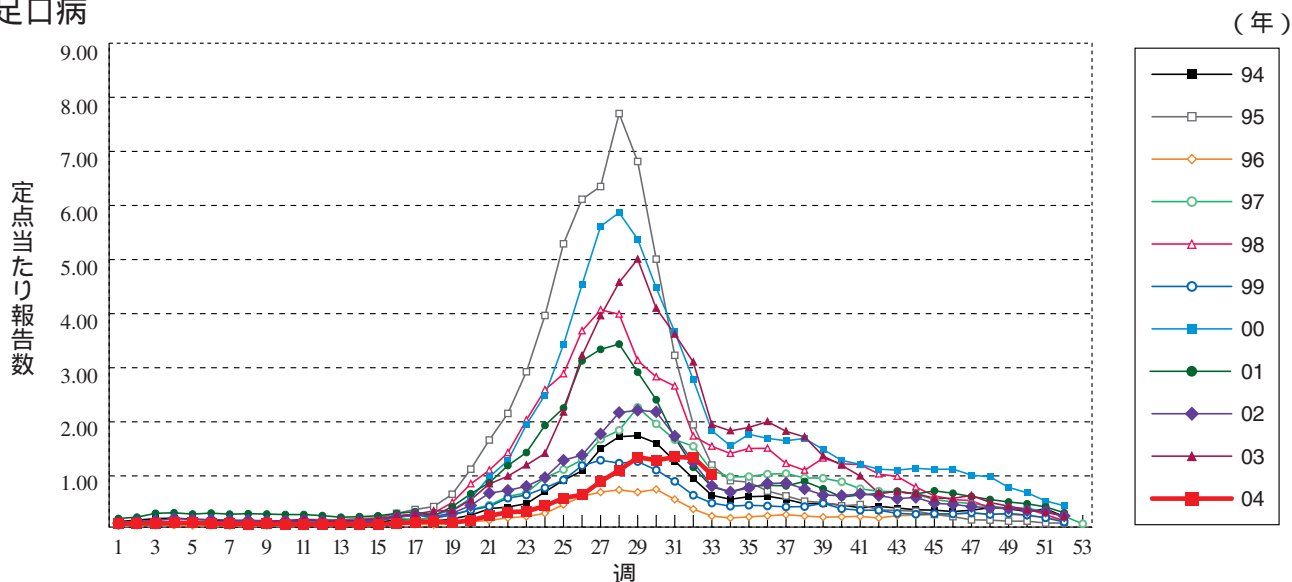
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



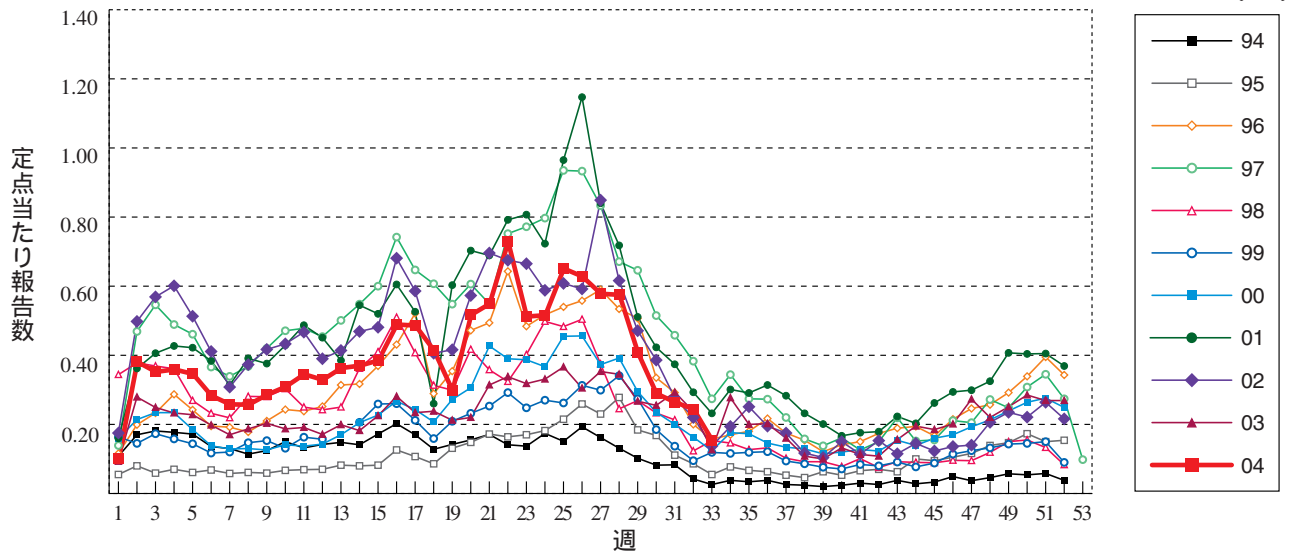
水痘



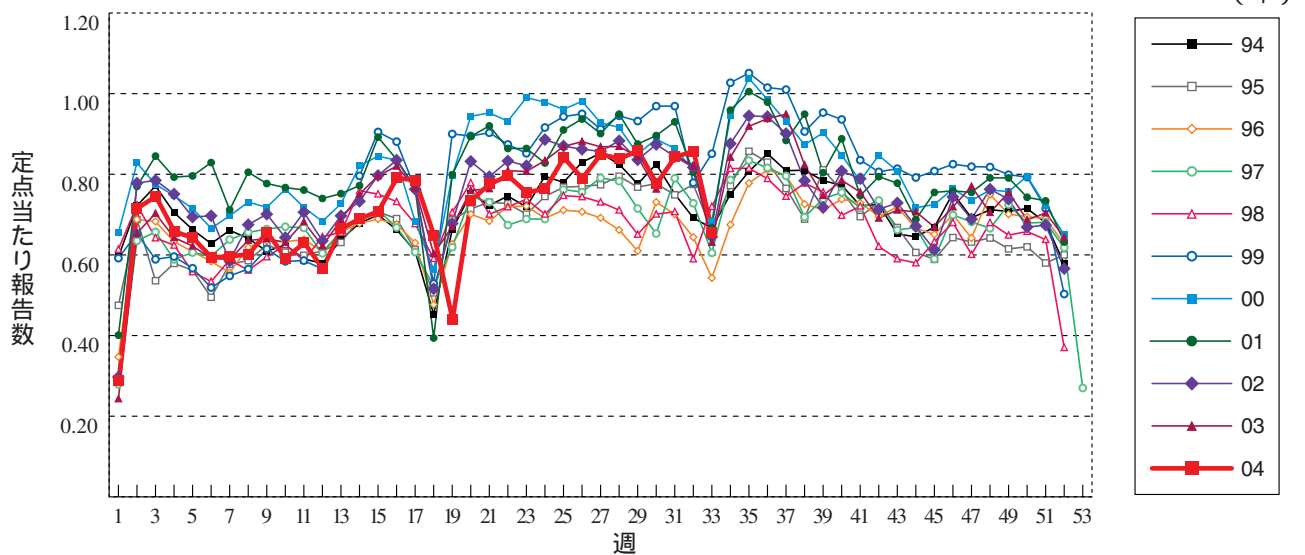
手足口病



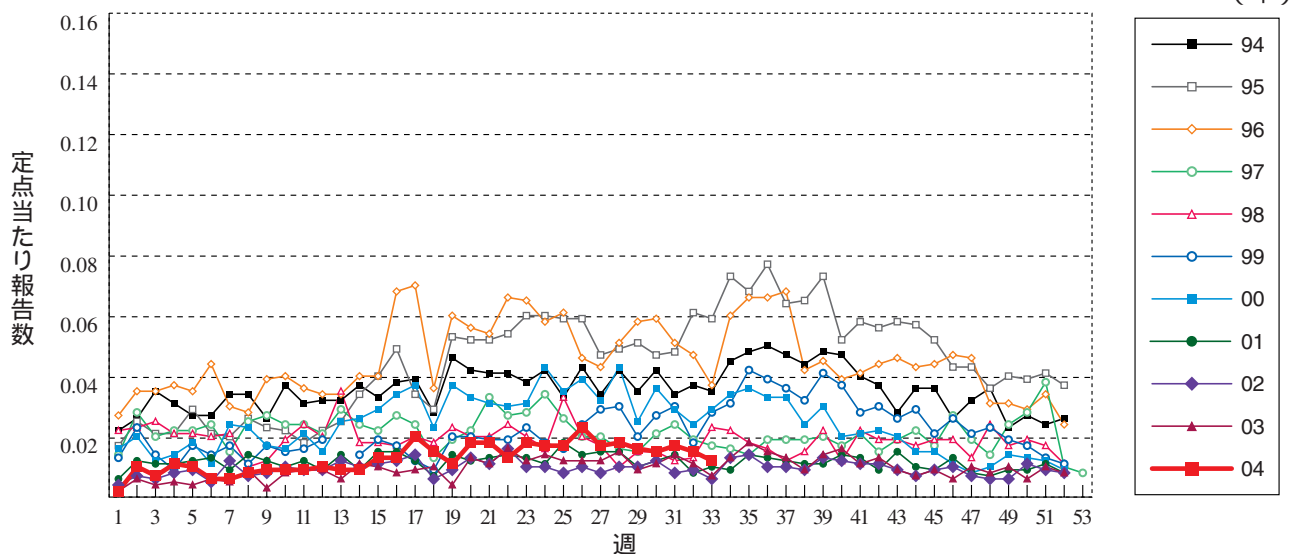
伝染性紅斑



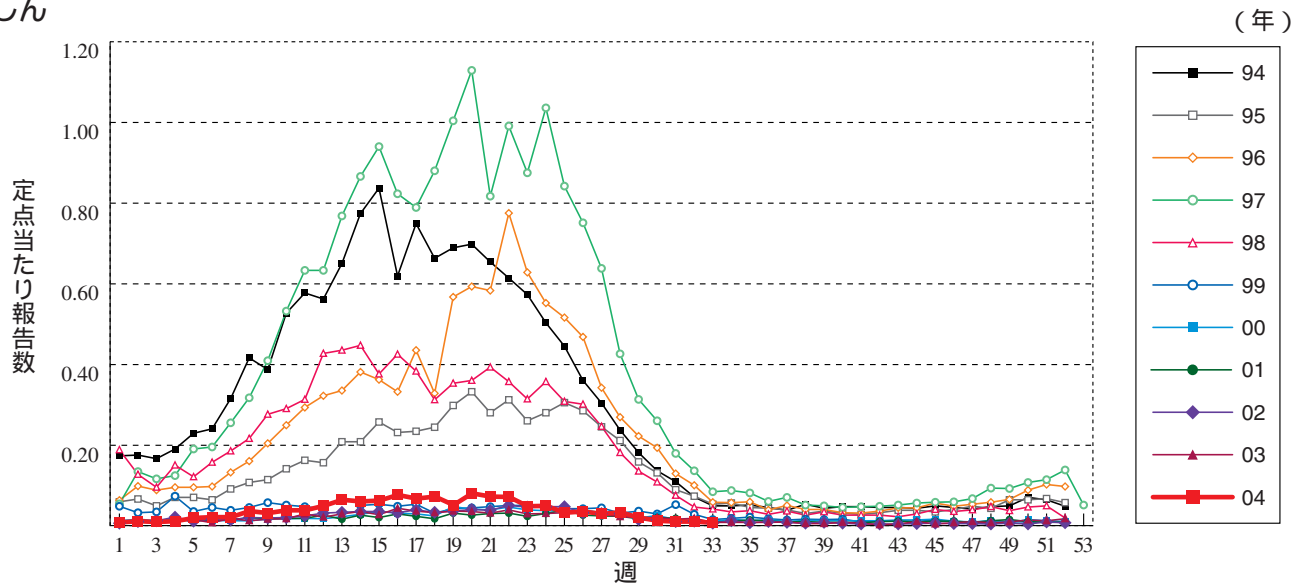
突発性発しん



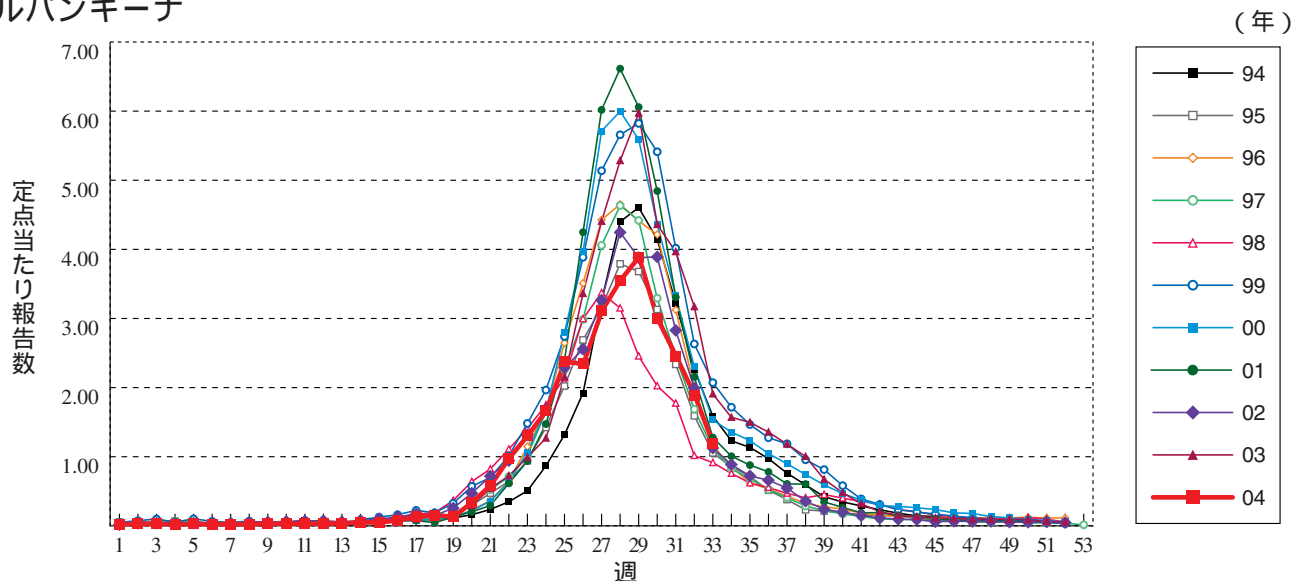
百日咳



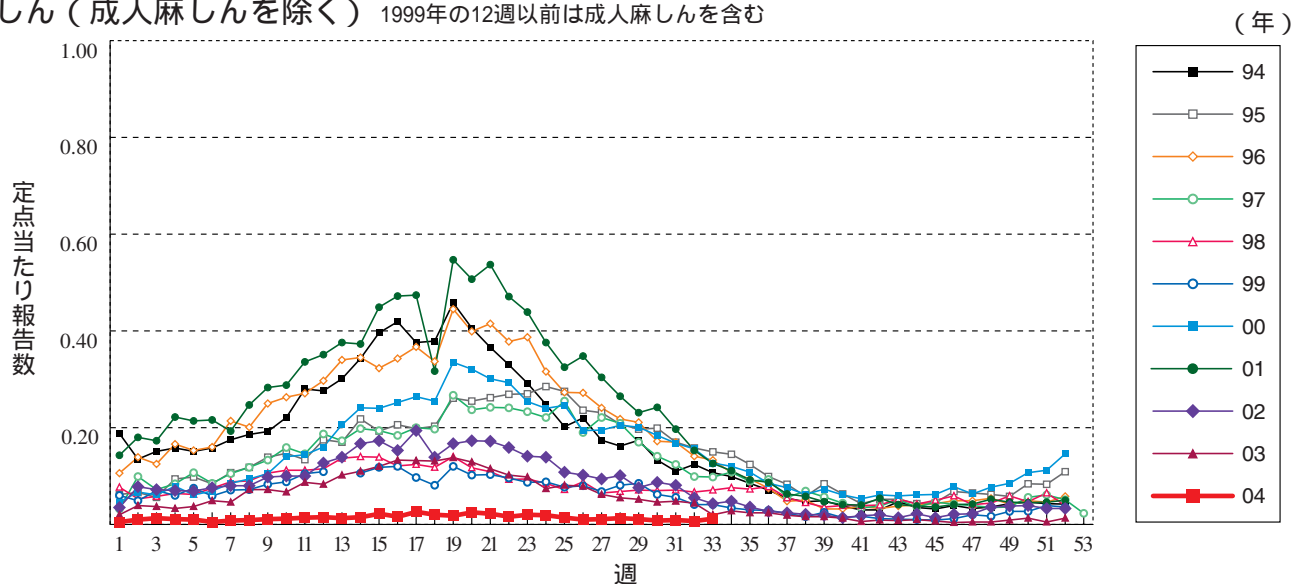
風しん



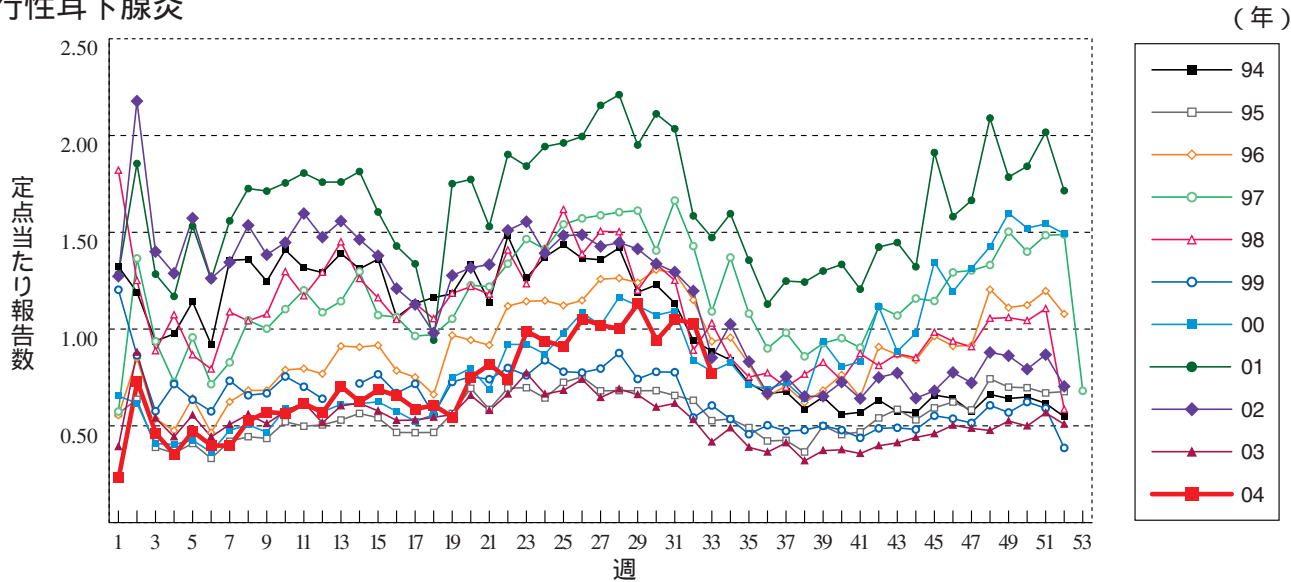
ヘルパンギーナ



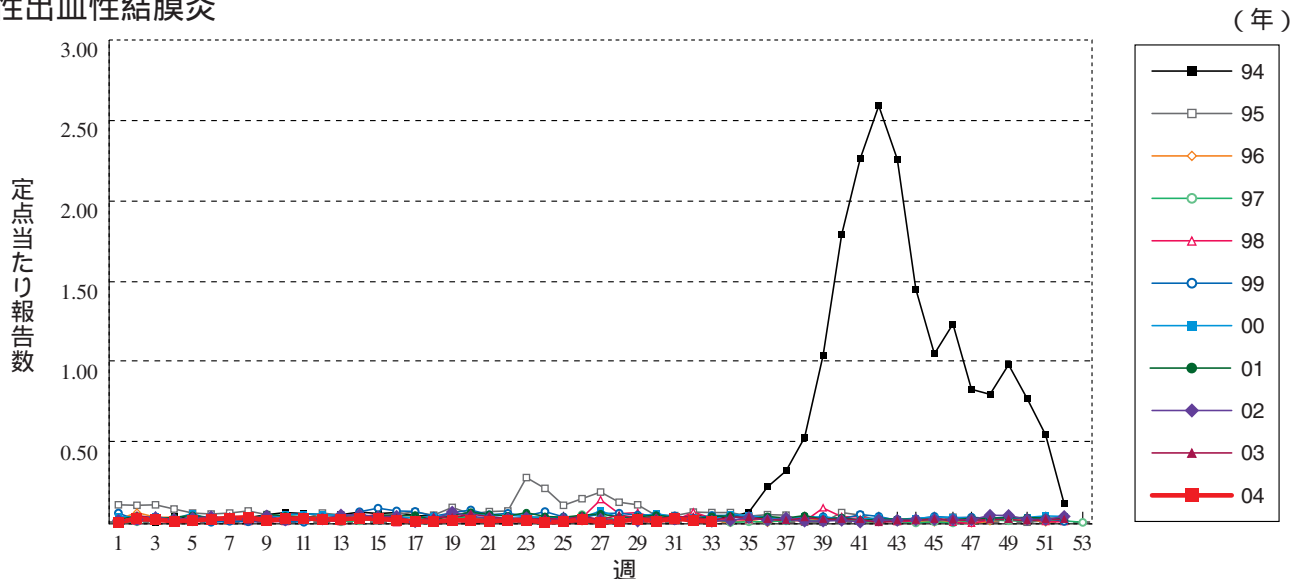
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



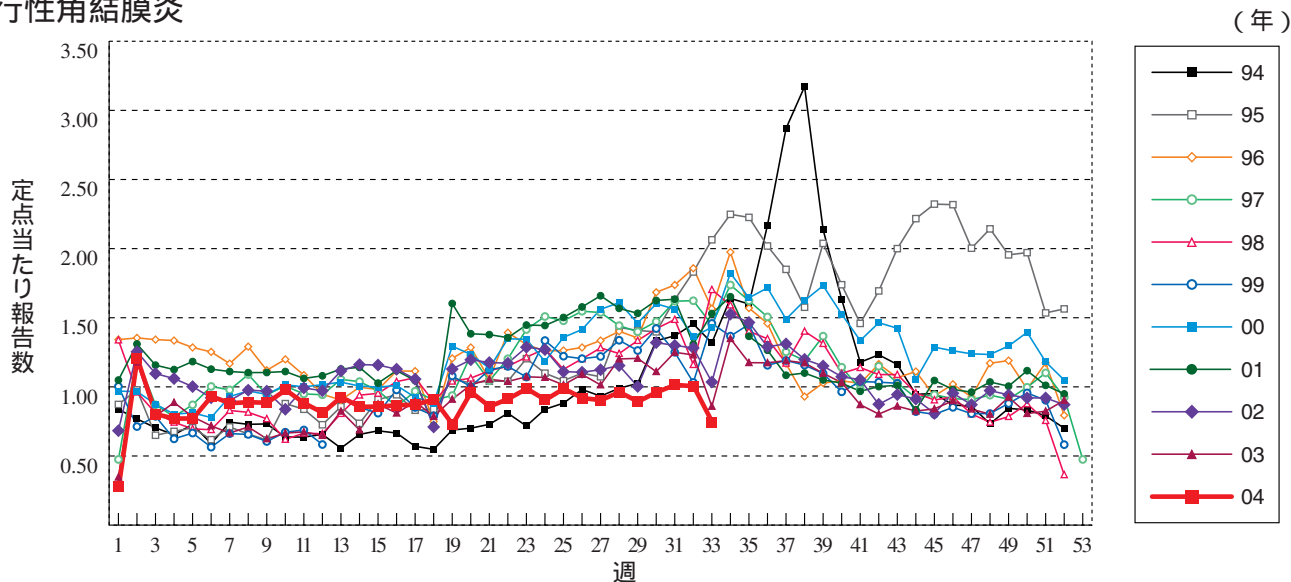
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

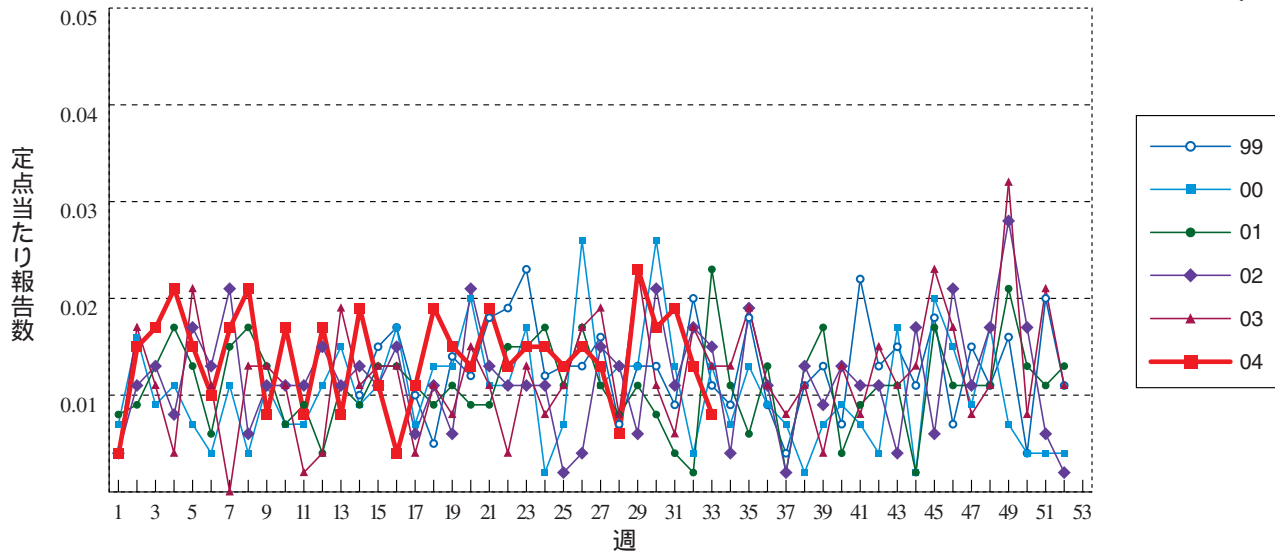


流行性角結膜炎



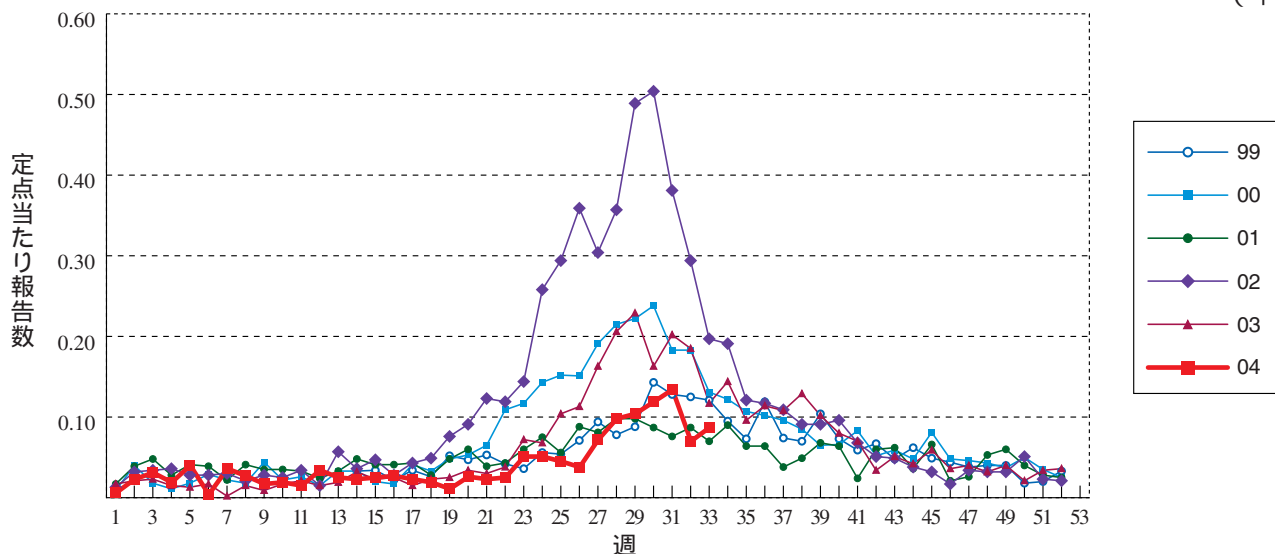
細菌性髄膜炎

(年)



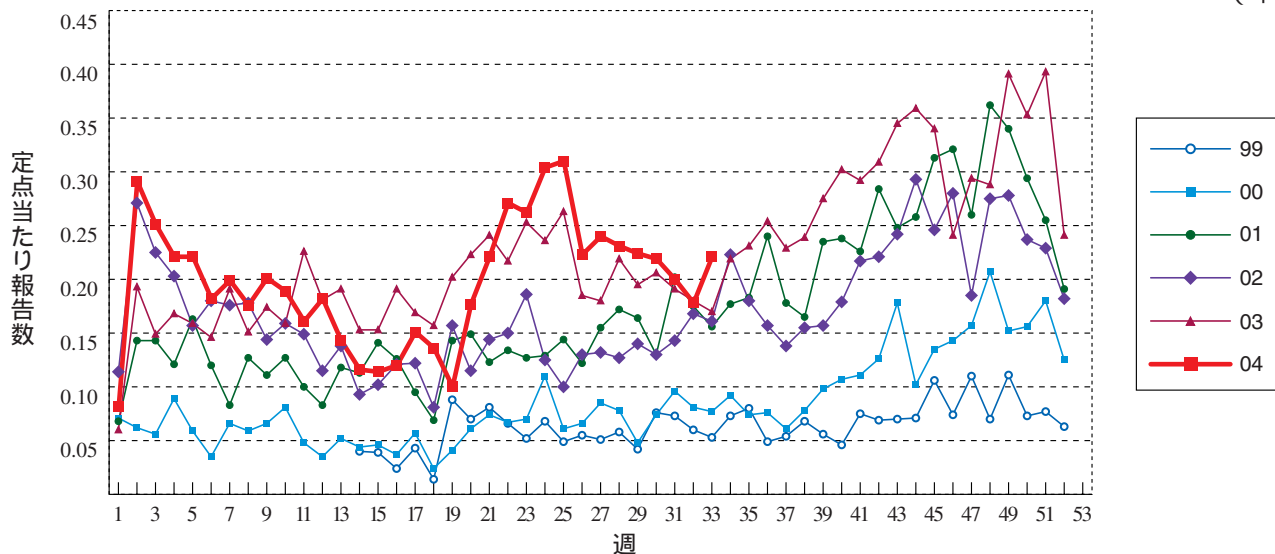
無菌性髄膜炎

(年)



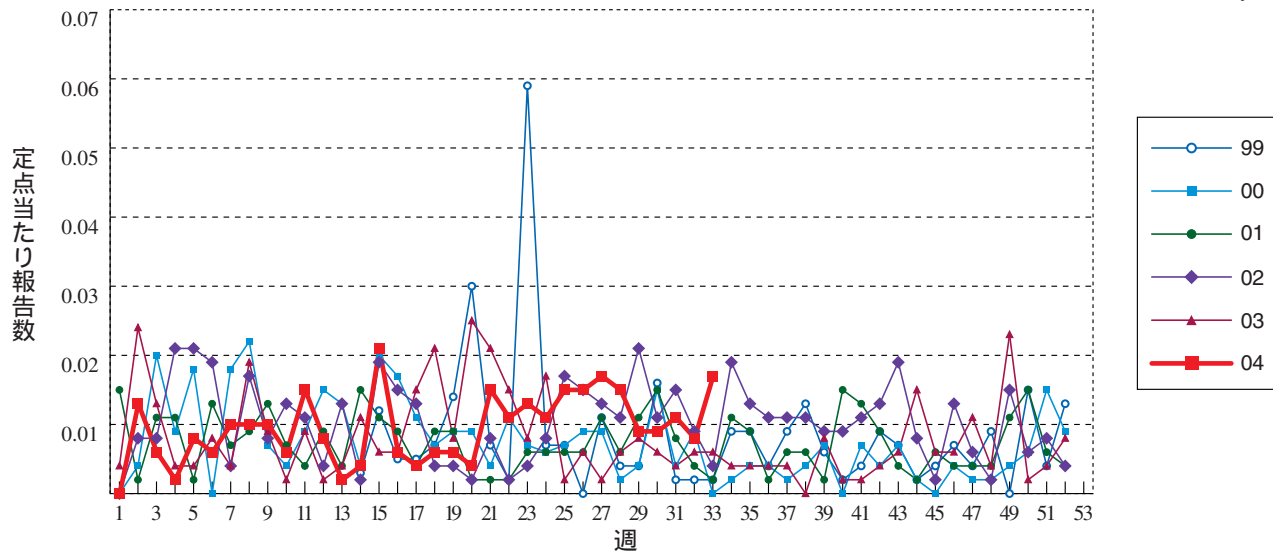
マイコプラズマ肺炎

(年)



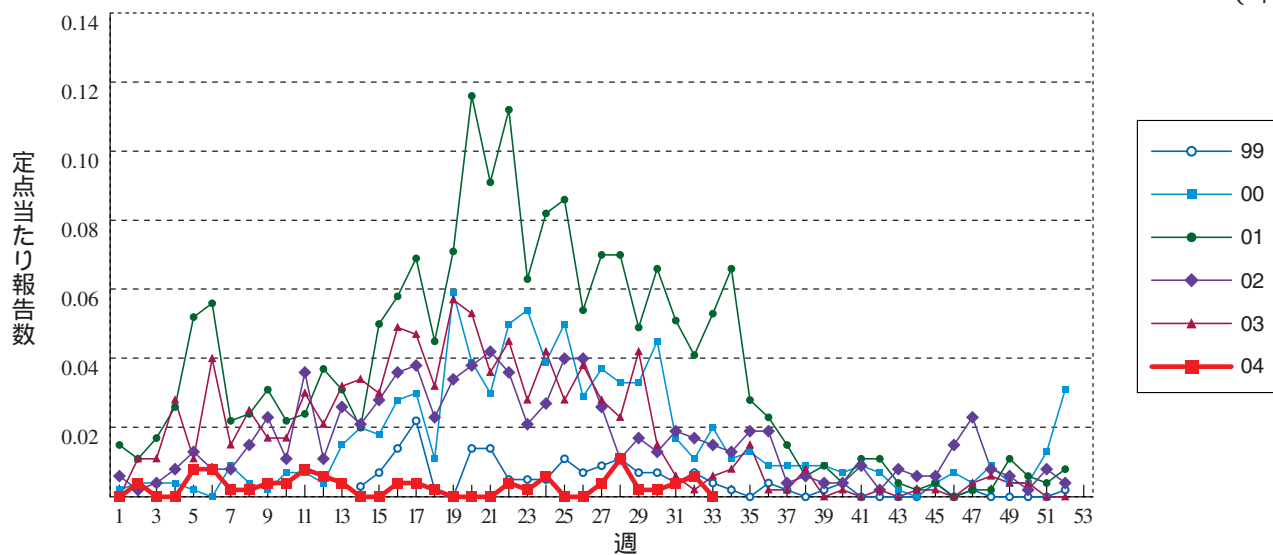
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

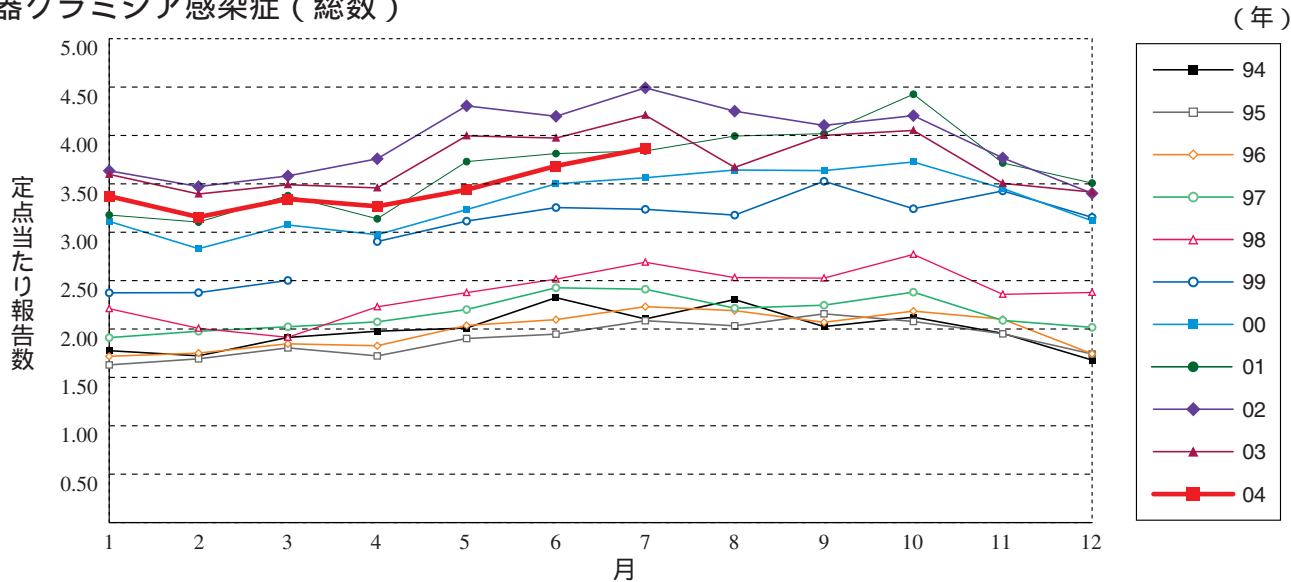




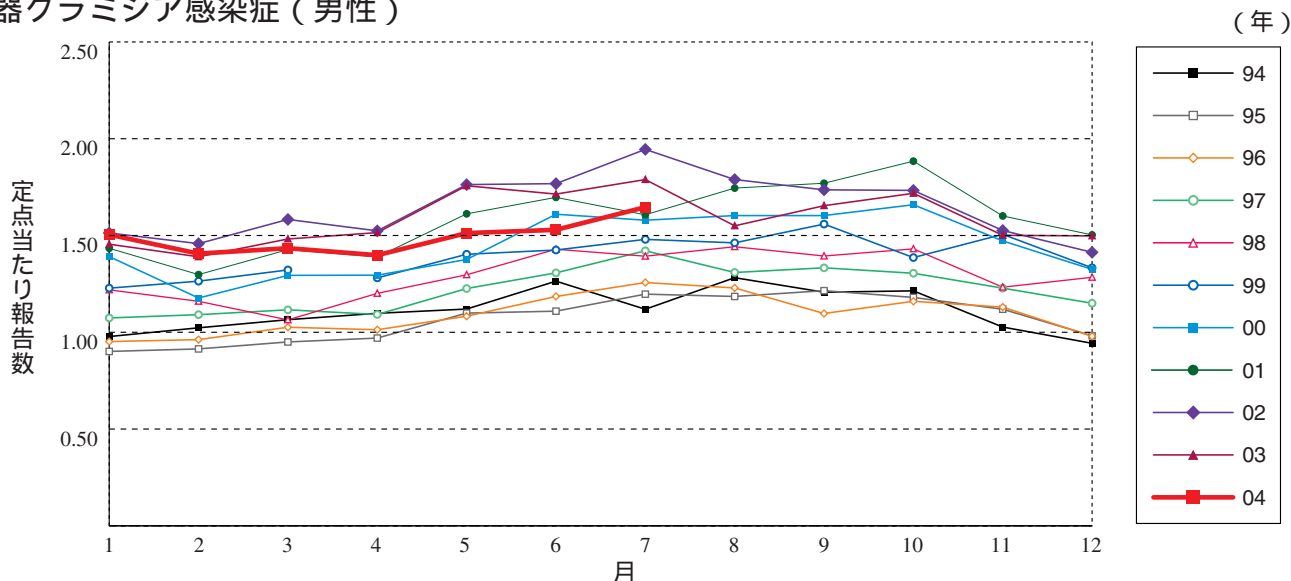
グラフ総覧(7月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

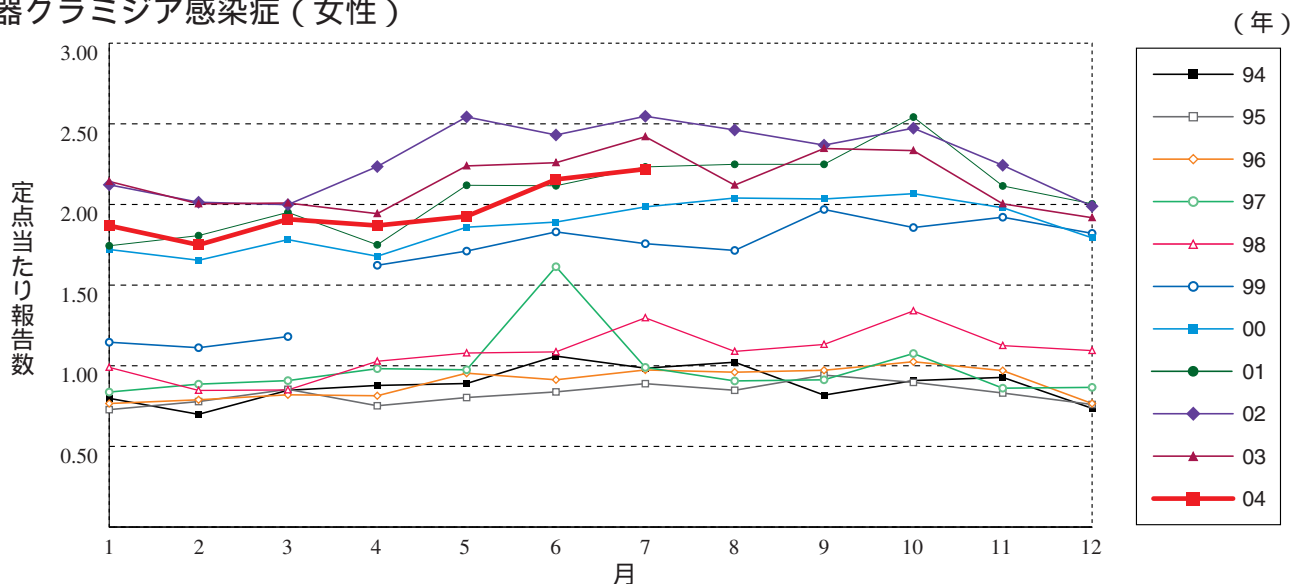
性器クラミジア感染症(総数)



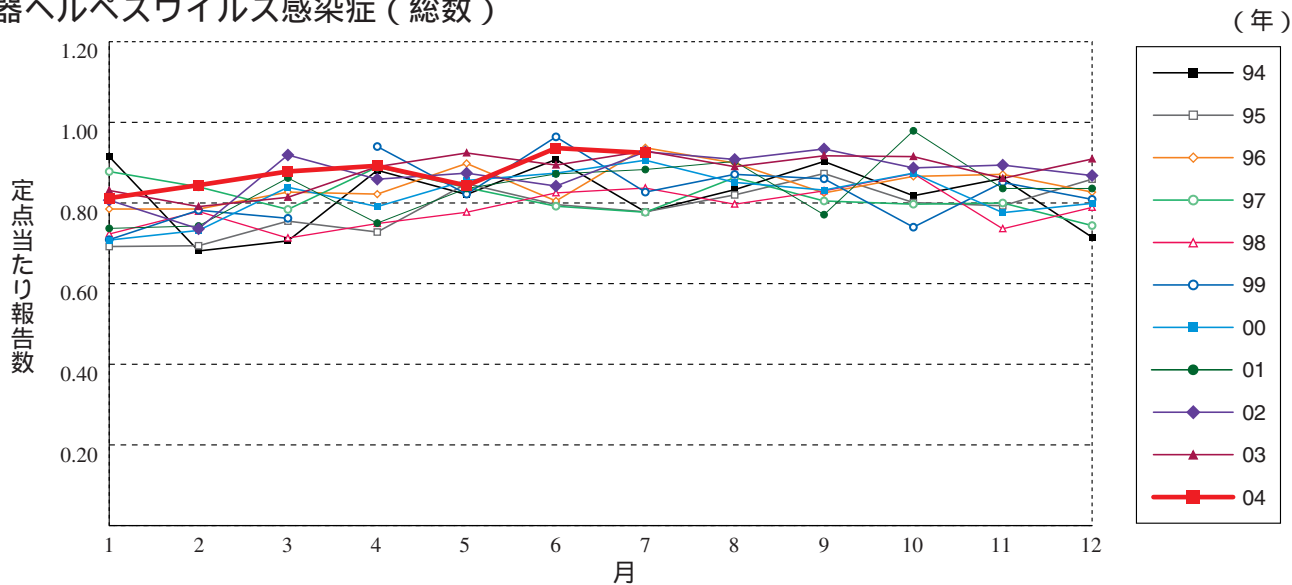
性器クラミジア感染症(男性)



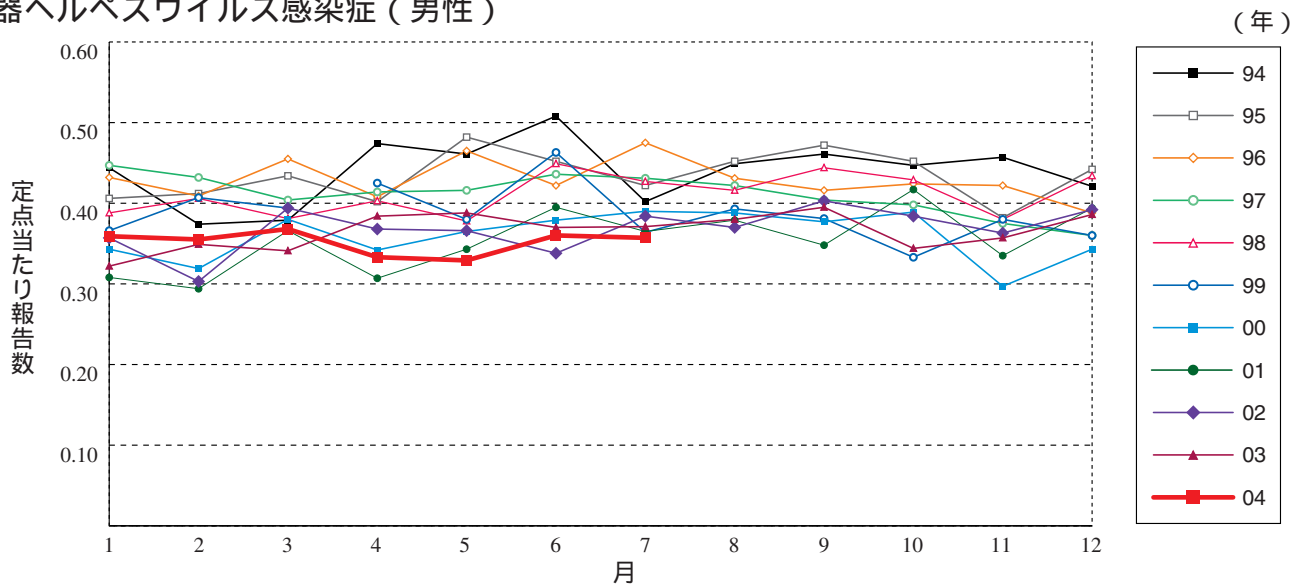
性器クラミジア感染症(女性)



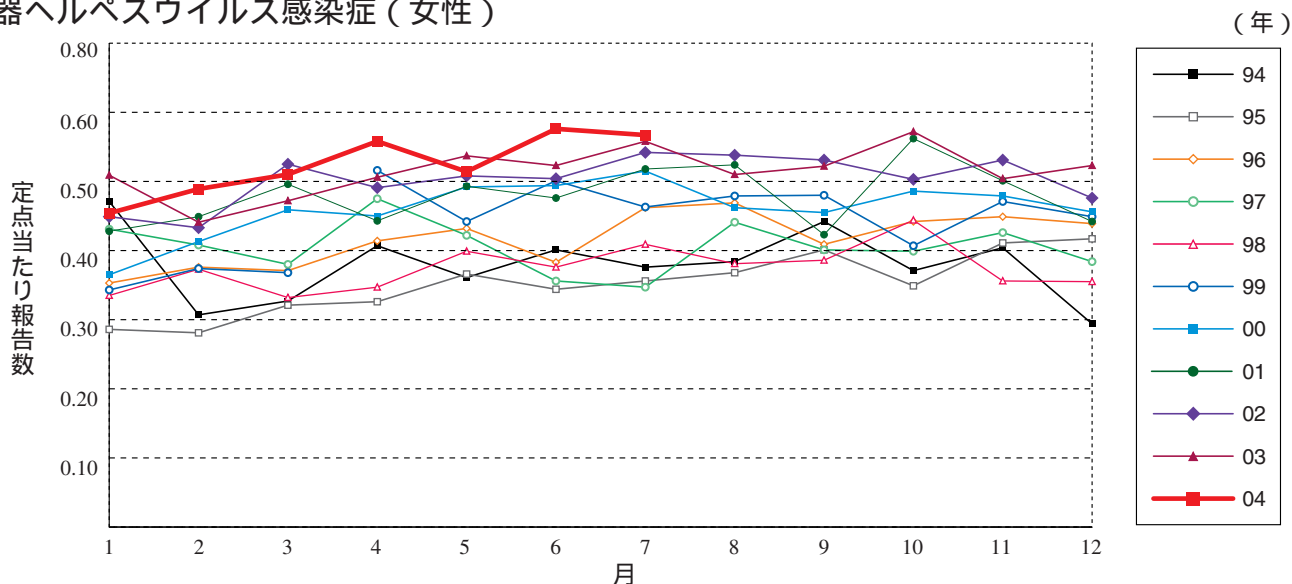
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



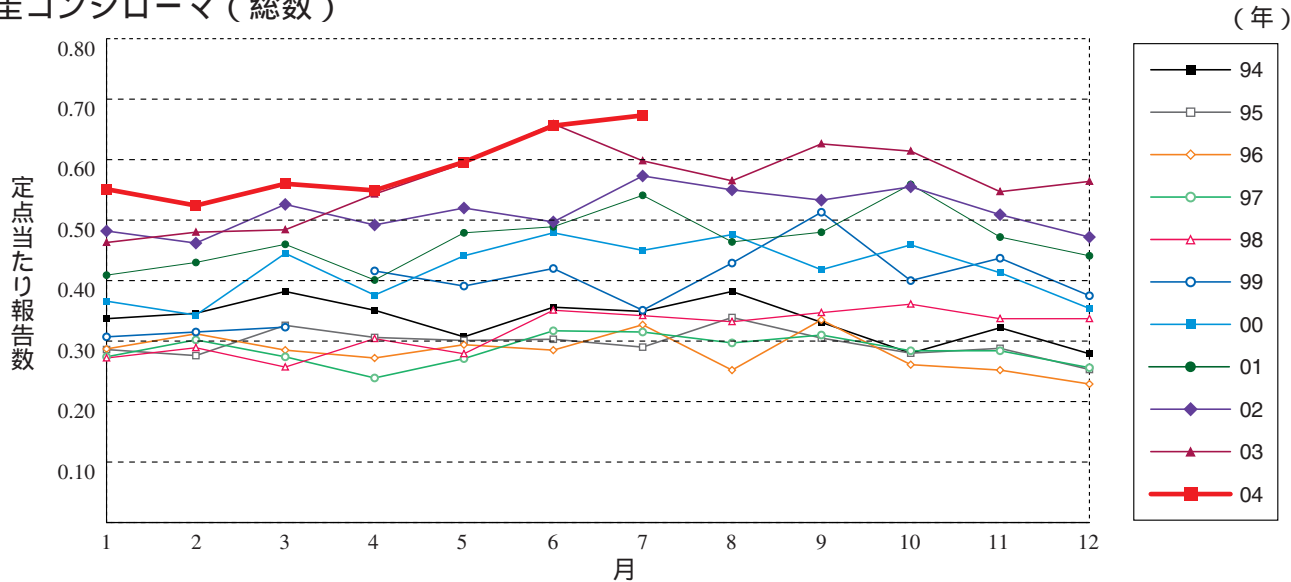
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



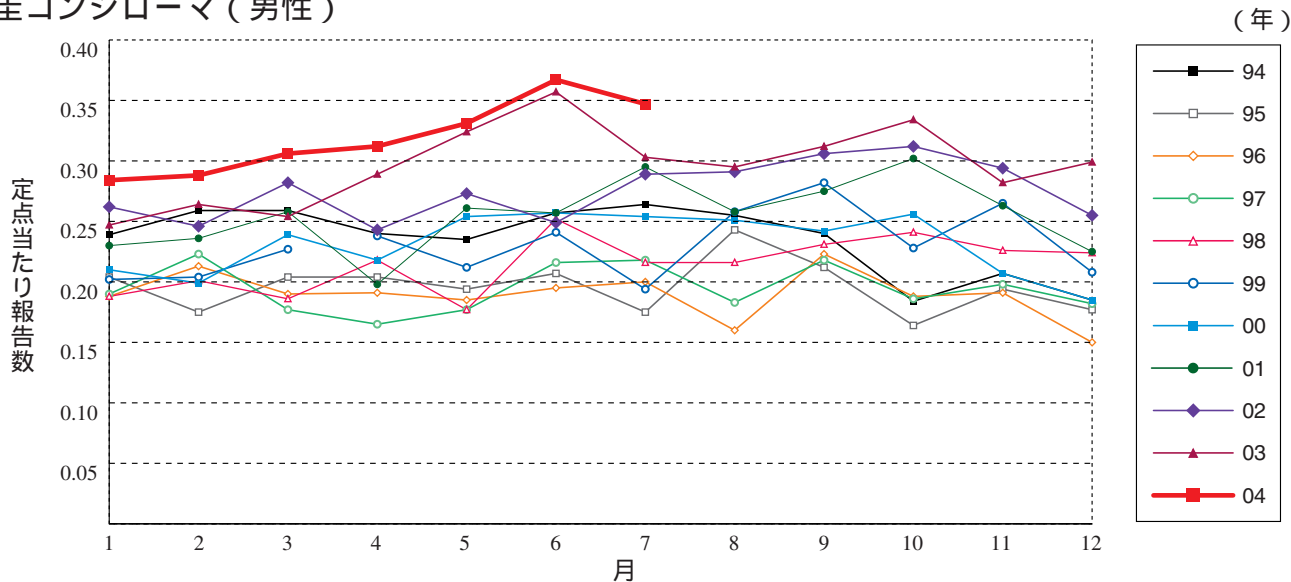
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



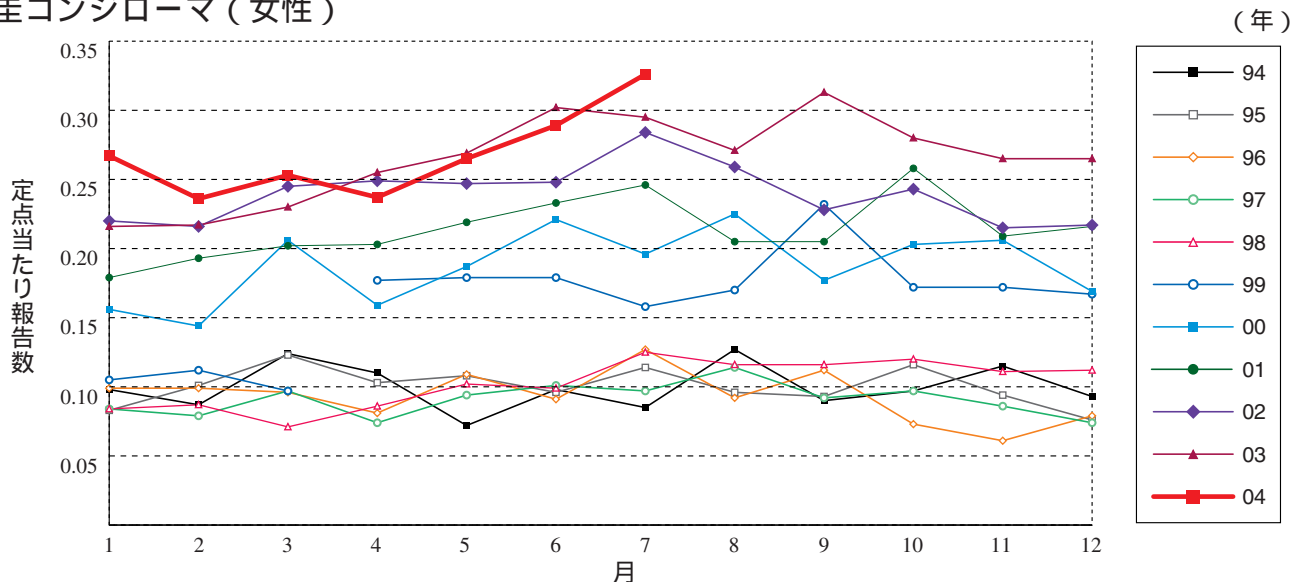
尖圭コンジローマ (総数)



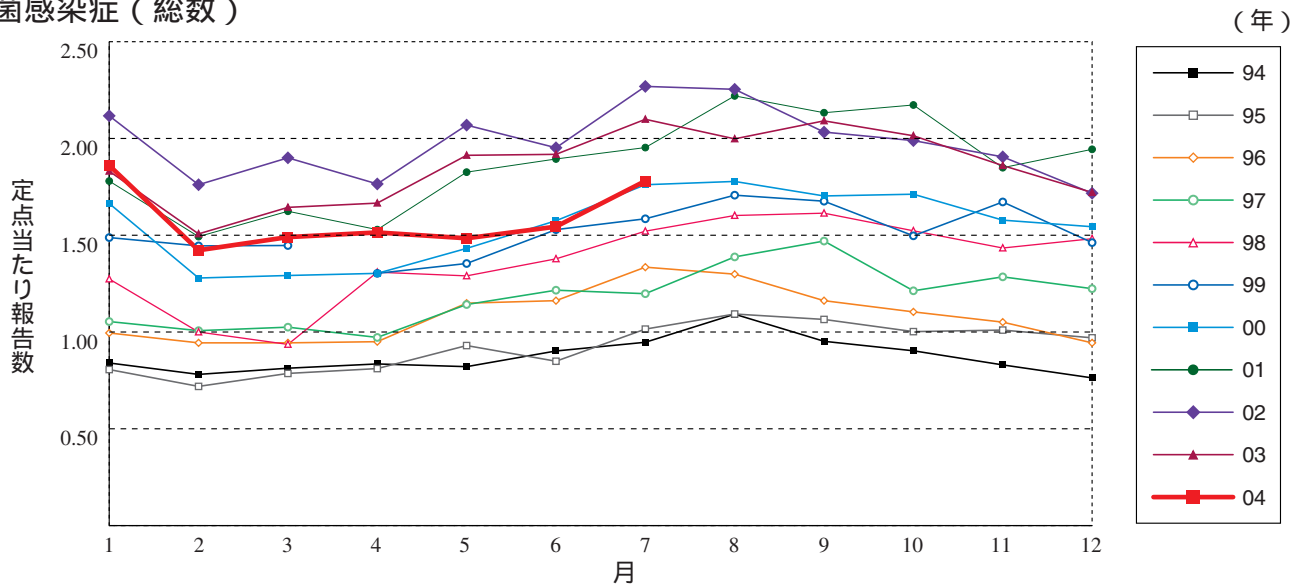
尖圭コンジローマ (男性)



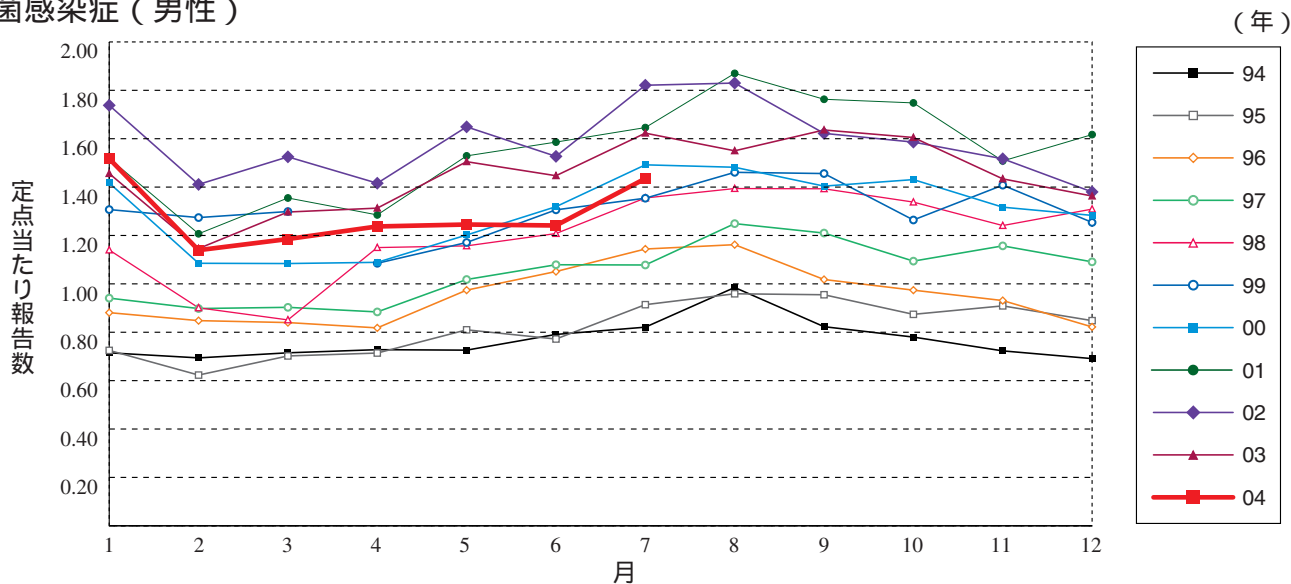
尖圭コンジローマ (女性)



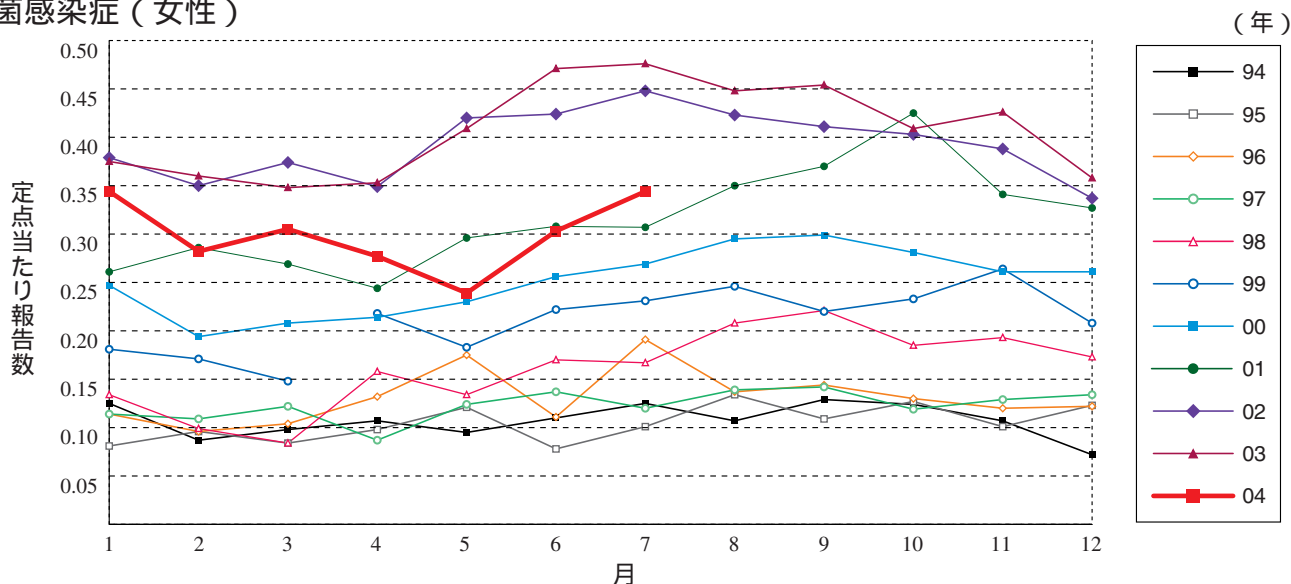
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

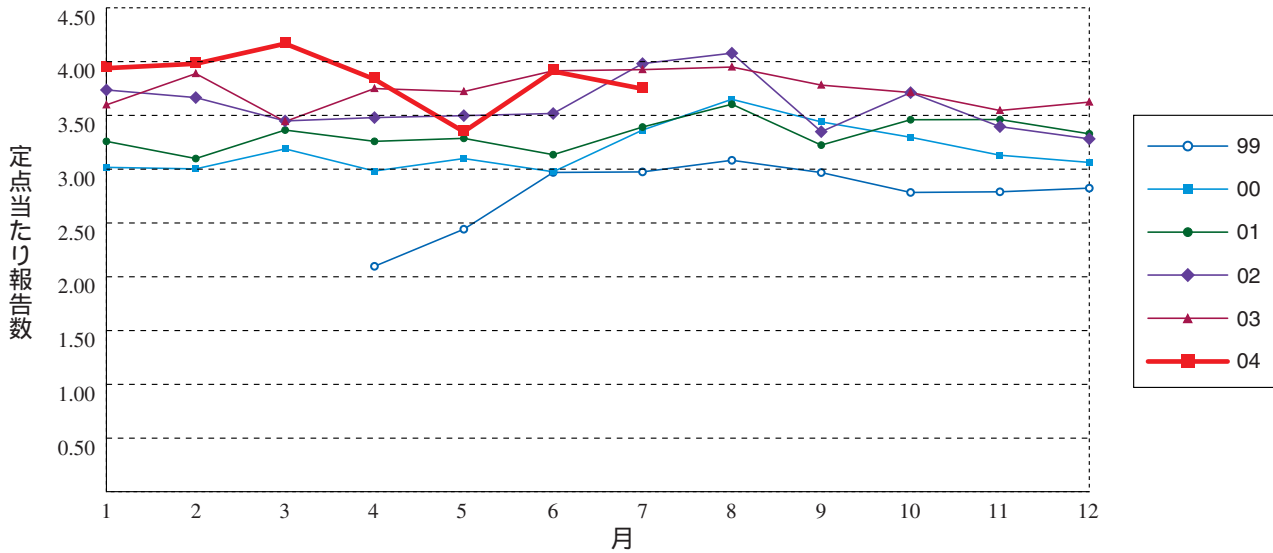


淋菌感染症 (女性)



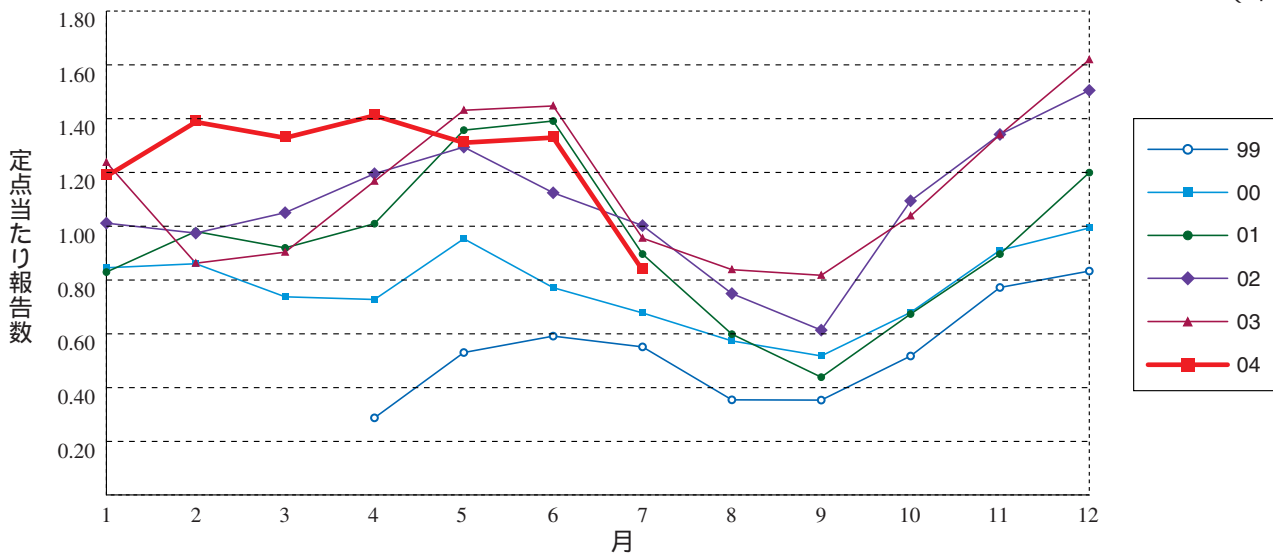
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



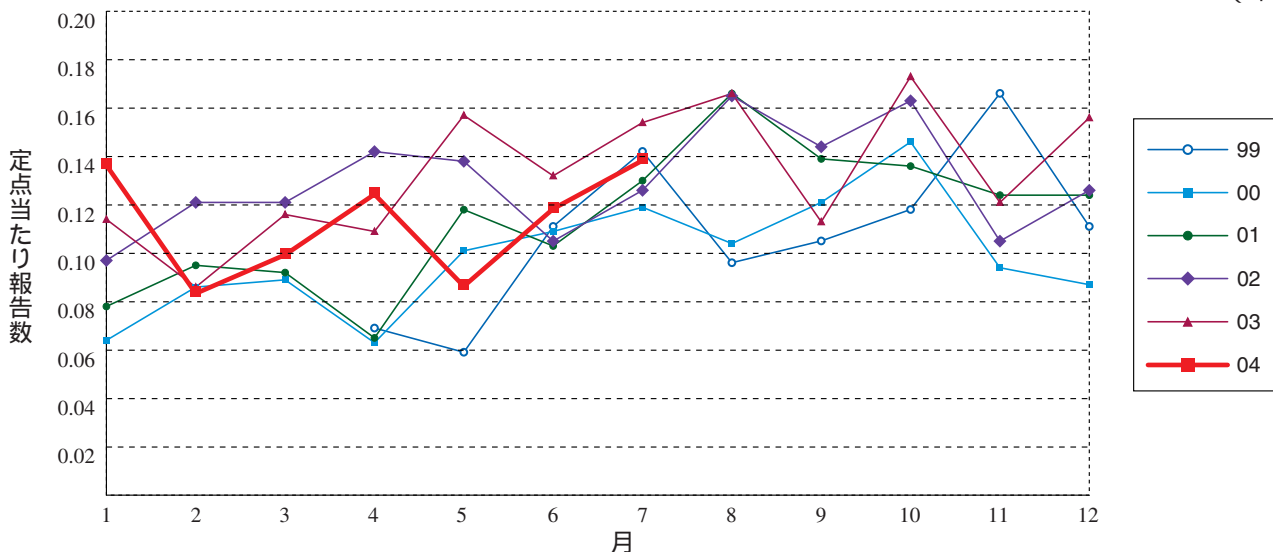
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)




7月のデータ

注) 8月10日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成16年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3560	3.87	851	0.92	620	0.67	1639	1.78	1764	3.76	395	0.84	65	0.14
北海道	252	6.15	48	1.17	32	0.78	92	2.24	25	1.04	1	0.04	1	0.04
青森県	45	3.46	6	0.46	10	0.77	21	1.62	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	49	3.77	9	0.69	8	0.62	22	1.69	97	4.85	20	1.00	9	0.45
宮城県	89	4.94	17	0.94	27	1.50	21	1.17	44	3.67	10	0.83	9	0.75
秋田県	44	3.38	6	0.46	5	0.38	20	1.54	31	5.17	8	1.33	-	-
山形県	38	3.80	11	1.10	4	0.40	18	1.80	48	4.80	13	1.30	1	0.10
福島県	61	3.81	20	1.25	16	1.00	46	2.88	6	0.86	7	1.00	-	-
茨城県	97	4.62	19	0.90	19	0.90	32	1.52	18	1.80	6	0.60	1	0.10
栃木県	65	4.06	11	0.69	24	1.50	36	2.25	43	6.14	2	0.29	-	-
群馬県	76	3.04	13	0.52	10	0.40	37	1.48	24	2.40	4	0.40	2	0.20
埼玉県	240	4.71	31	0.61	28	0.55	72	1.41	22	2.44	-	-	2	0.22
千葉県	135	3.55	33	0.87	32	0.84	48	1.26	34	3.78	67	7.44	-	-
東京都	224	5.46	104	2.54	65	1.59	105	2.56	115	4.60	26	1.04	3	0.12
神奈川県	141	2.35	25	0.42	22	0.37	64	1.07	25	2.27	29	2.64	-	-
新潟県	35	1.75	15	0.75	7	0.35	29	1.45	61	4.69	14	1.08	-	-
富山県	15	2.14	3	0.43	3	0.43	7	1.00	42	8.40	22	4.40	1	0.20
石川県	17	1.70	11	1.10	1	0.10	7	0.70	20	4.00	-	-	2	0.40
福井県	10	2.00	1	0.20	2	0.40	9	1.80	22	3.67	17	2.83	-	-
山梨県	4	0.67	2	0.33	1	0.17	1	0.17	30	3.00	8	0.80	3	0.30
長野県	61	3.81	4	0.25	8	0.50	20	1.25	25	2.27	4	0.36	-	-
岐阜県	43	2.87	5	0.33	6	0.40	22	1.47	14	2.80	-	-	-	-
静岡県	69	2.30	22	0.73	3	0.10	26	0.87	57	5.70	12	1.20	2	0.20
愛知県	245	4.80	50	0.98	45	0.88	156	3.06	77	5.92	-	-	-	-
三重県	19	1.27	5	0.33	1	0.07	11	0.73	41	4.56	-	-	-	-
滋賀県	12	1.33	4	0.44	3	0.33	8	0.89	42	6.00	1	0.14	-	-
京都府	52	2.26	11	0.48	1	0.04	13	0.57	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	388	6.47	124	2.07	92	1.53	189	3.15	29	2.07	4	0.29	5	0.36
兵庫県	128	2.72	31	0.66	21	0.45	57	1.21	23	1.64	1	0.07	-	-
奈良県	20	2.22	2	0.22	3	0.33	14	1.56	48	8.00	7	1.17	1	0.17
和歌山県	20	2.50	9	1.13	3	0.38	12	1.50	58	5.27	3	0.27	2	0.18
鳥取県	15	3.00	2	0.40	1	0.20	7	1.40	31	6.20	3	0.60	-	-
島根県	19	3.17	3	0.50	-	-	5	0.83	49	6.13	9	1.13	2	0.25
岡山県	87	5.12	15	0.88	10	0.59	56	3.29	22	4.40	1	0.20	-	-
広島県	69	2.56	9	0.33	10	0.37	21	0.78	111	5.29	28	1.33	9	0.43
山口県	30	2.50	11	0.92	5	0.42	16	1.33	56	6.22	13	1.44	1	0.11
徳島県	21	3.50	9	1.50	3	0.50	-	-	16	2.29	-	-	-	-
香川県	31	4.43	10	1.43	7	1.00	10	1.43	25	6.25	6	1.50	2	0.50
愛媛県	28	2.55	7	0.64	9	0.82	19	1.73	17	2.83	1	0.17	-	-
高知県	7	1.17	2	0.33	-	-	5	0.83	40	5.00	11	1.38	-	-
福岡県	235	6.35	49	1.32	39	1.05	127	3.43	42	2.80	10	0.67	1	0.07
佐賀県	20	2.86	6	0.86	1	0.14	15	2.14	30	5.00	12	2.00	-	-
長崎県	27	2.70	23	2.30	4	0.40	18	1.80	5	0.42	-	-	1	0.08
熊本県	88	6.29	8	0.57	3	0.21	25	1.79	49	3.27	1	0.07	3	0.20
大分県	17	1.70	16	1.60	3	0.30	7	0.70	51	5.10	4	0.40	1	0.10
宮崎県	45	4.09	15	1.36	7	0.64	29	2.64	33	4.71	6	0.86	-	-
鹿児島県	76	4.75	12	0.75	11	0.69	53	3.31	21	1.75	2	0.17	-	-
沖縄県	51	4.25	2	0.17	5	0.42	11	0.92	41	5.86	2	0.29	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成16年7月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1516	1.65	329	0.36	320	0.35	1322	1.44	1115	2.38	225	0.48	36	0.08
北海道	72	1.76	10	0.24	13	0.32	58	1.41	14	0.58	-	-	-	-
青森県	13	1.00	2	0.15	5	0.38	16	1.23	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	28	2.15	3	0.23	5	0.38	18	1.38	62	3.10	12	0.60	5	0.25
宮城県	36	2.00	7	0.39	21	1.17	19	1.06	22	1.83	5	0.42	5	0.42
秋田県	26	2.00	1	0.08	2	0.15	19	1.46	23	3.83	7	1.17	-	-
山形県	15	1.50	1	0.10	2	0.20	16	1.60	35	3.50	5	0.50	-	-
福島県	19	1.19	9	0.56	4	0.25	41	2.56	3	0.43	4	0.57	-	-
茨城県	40	1.90	6	0.29	8	0.38	23	1.10	14	1.40	2	0.20	1	0.10
栃木県	42	2.63	8	0.50	22	1.38	34	2.13	29	4.14	1	0.14	-	-
群馬県	37	1.48	3	0.12	3	0.12	30	1.20	17	1.70	2	0.20	-	-
埼玉県	73	1.43	8	0.16	13	0.25	59	1.16	12	1.33	-	-	1	0.11
千葉県	64	1.68	17	0.45	19	0.50	43	1.13	25	2.78	36	4.00	-	-
東京都	115	2.80	51	1.24	33	0.80	81	1.98	75	3.00	19	0.76	2	0.08
神奈川県	93	1.55	12	0.20	11	0.18	58	0.97	16	1.45	14	1.27	-	-
新潟県	19	0.95	10	0.50	5	0.25	28	1.40	42	3.23	10	0.77	-	-
富山県	8	1.14	1	0.14	1	0.14	7	1.00	17	3.40	13	2.60	1	0.20
石川県	11	1.10	1	0.10	1	0.10	7	0.70	15	3.00	-	-	2	0.40
福井県	4	0.80	1	0.20	2	0.40	9	1.80	14	2.33	9	1.50	-	-
山梨県	1	0.17	-	-	1	0.17	1	0.17	24	2.40	5	0.50	-	-
長野県	30	1.88	1	0.06	3	0.19	16	1.00	19	1.73	3	0.27	-	-
岐阜県	21	1.40	4	0.27	6	0.40	19	1.27	8	1.60	-	-	-	-
静岡県	13	0.43	5	0.17	1	0.03	20	0.67	40	4.00	7	0.70	2	0.20
愛知県	136	2.67	25	0.49	26	0.51	111	2.18	45	3.46	-	-	-	-
三重県	11	0.73	3	0.20	1	0.07	11	0.73	30	3.33	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	1	0.11	-	-	7	0.78	27	3.86	-	-	-	-
京都府	8	0.35	1	0.04	-	-	5	0.22	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	113	1.88	54	0.90	46	0.77	154	2.57	17	1.21	3	0.21	4	0.29
兵庫県	67	1.43	14	0.30	13	0.28	43	0.91	14	1.00	1	0.07	-	-
奈良県	14	1.56	1	0.11	3	0.33	13	1.44	34	5.67	5	0.83	-	-
和歌山県	16	2.00	4	0.50	3	0.38	11	1.38	35	3.18	2	0.18	1	0.09
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-	6	1.20	18	3.60	1	0.20	-	-
島根県	9	1.50	2	0.33	-	-	5	0.83	34	4.25	6	0.75	2	0.25
岡山県	35	2.06	3	0.18	1	0.06	45	2.65	15	3.00	-	-	-	-
広島県	22	0.81	4	0.15	-	-	17	0.63	62	2.95	17	0.81	5	0.24
山口県	12	1.00	1	0.08	2	0.17	12	1.00	36	4.00	5	0.56	-	-
徳島県	13	2.17	7	1.17	2	0.33	-	-	8	1.14	-	-	-	-
香川県	12	1.71	5	0.71	5	0.71	8	1.14	18	4.50	6	1.50	-	-
愛媛県	9	0.82	3	0.27	7	0.64	16	1.45	9	1.50	1	0.17	-	-
高知県	2	0.33	-	-	-	-	5	0.83	29	3.63	8	1.00	-	-
福岡県	118	3.19	24	0.65	19	0.51	115	3.11	21	1.40	4	0.27	-	-
佐賀県	18	2.57	-	-	-	-	15	2.14	18	3.00	4	0.67	-	-
長崎県	12	1.20	4	0.40	2	0.20	13	1.30	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	17	1.21	1	0.07	-	-	15	1.07	32	2.13	-	-	3	0.20
大分県	5	0.50	4	0.40	2	0.20	4	0.40	29	2.90	3	0.30	1	0.10
宮崎県	24	2.18	1	0.09	2	0.18	25	2.27	15	2.14	2	0.29	-	-
鹿児島県	42	2.63	5	0.31	5	0.31	36	2.25	12	1.00	2	0.17	-	-
沖縄県	10	0.83	1	0.08	-	-	8	0.67	24	3.43	1	0.14	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成16年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2044	2.22	522	0.57	300	0.33	317	0.34	649	1.38	170	0.36	29	0.06
北海道	180	4.39	38	0.93	19	0.46	34	0.83	11	0.46	1	0.04	1	0.04
青森県	32	2.46	4	0.31	5	0.38	5	0.38	-	-	-	-	-	-
岩手県	21	1.62	6	0.46	3	0.23	4	0.31	35	1.75	8	0.40	4	0.20
宮城県	53	2.94	10	0.56	6	0.33	2	0.11	22	1.83	5	0.42	4	0.33
秋田県	18	1.38	5	0.38	3	0.23	1	0.08	8	1.33	1	0.17	-	-
山形県	23	2.30	10	1.00	2	0.20	2	0.20	13	1.30	8	0.80	1	0.10
福島県	42	2.63	11	0.69	12	0.75	5	0.31	3	0.43	3	0.43	-	-
茨城県	57	2.71	13	0.62	11	0.52	9	0.43	4	0.40	4	0.40	-	-
栃木県	23	1.44	3	0.19	2	0.13	2	0.13	14	2.00	1	0.14	-	-
群馬県	39	1.56	10	0.40	7	0.28	7	0.28	7	0.70	2	0.20	2	0.20
埼玉県	167	3.27	23	0.45	15	0.29	13	0.25	10	1.11	-	-	1	0.11
千葉県	71	1.87	16	0.42	13	0.34	5	0.13	9	1.00	31	3.44	-	-
東京都	109	2.66	53	1.29	32	0.78	24	0.59	40	1.60	7	0.28	1	0.04
神奈川県	48	0.80	13	0.22	11	0.18	6	0.10	9	0.82	15	1.36	-	-
新潟県	16	0.80	5	0.25	2	0.10	1	0.05	19	1.46	4	0.31	-	-
富山県	7	1.00	2	0.29	2	0.29	-	-	25	5.00	9	1.80	-	-
石川県	6	0.60	10	1.00	-	-	-	-	5	1.00	-	-	-	-
福井県	6	1.20	-	-	-	-	-	-	8	1.33	8	1.33	-	-
山梨県	3	0.50	2	0.33	-	-	-	-	6	0.60	3	0.30	3	0.30
長野県	31	1.94	3	0.19	5	0.31	4	0.25	6	0.55	1	0.09	-	-
岐阜県	22	1.47	1	0.07	-	-	3	0.20	6	1.20	-	-	-	-
静岡県	56	1.87	17	0.57	2	0.07	6	0.20	17	1.70	5	0.50	-	-
愛知県	109	2.14	25	0.49	19	0.37	45	0.88	32	2.46	-	-	-	-
三重県	8	0.53	2	0.13	-	-	-	-	11	1.22	-	-	-	-
滋賀県	6	0.67	3	0.33	3	0.33	1	0.11	15	2.14	1	0.14	-	-
京都府	44	1.91	10	0.43	1	0.04	8	0.35	-	-	-	-	-	-
大阪府	275	4.58	70	1.17	46	0.77	35	0.58	12	0.86	1	0.07	1	0.07
兵庫県	61	1.30	17	0.36	8	0.17	14	0.30	9	0.64	-	-	-	-
奈良県	6	0.67	1	0.11	-	-	1	0.11	14	2.33	2	0.33	1	0.17
和歌山県	4	0.50	5	0.63	-	-	1	0.13	23	2.09	1	0.09	1	0.09
鳥取県	10	2.00	2	0.40	1	0.20	1	0.20	13	2.60	2	0.40	-	-
島根県	10	1.67	1	0.17	-	-	-	-	15	1.88	3	0.38	-	-
岡山県	52	3.06	12	0.71	9	0.53	11	0.65	7	1.40	1	0.20	-	-
広島県	47	1.74	5	0.19	10	0.37	4	0.15	49	2.33	11	0.52	4	0.19
山口県	18	1.50	10	0.83	3	0.25	4	0.33	20	2.22	8	0.89	1	0.11
徳島県	8	1.33	2	0.33	1	0.17	-	-	8	1.14	-	-	-	-
香川県	19	2.71	5	0.71	2	0.29	2	0.29	7	1.75	-	-	2	0.50
愛媛県	19	1.73	4	0.36	2	0.18	3	0.27	8	1.33	-	-	-	-
高知県	5	0.83	2	0.33	-	-	-	-	11	1.38	3	0.38	-	-
福岡県	117	3.16	25	0.68	20	0.54	12	0.32	21	1.40	6	0.40	1	0.07
佐賀県	2	0.29	6	0.86	1	0.14	-	-	12	2.00	8	1.33	-	-
長崎県	15	1.50	19	1.90	2	0.20	5	0.50	2	0.17	-	-	1	0.08
熊本県	71	5.07	7	0.50	3	0.21	10	0.71	17	1.13	1	0.07	-	-
大分県	12	1.20	12	1.20	1	0.10	3	0.30	22	2.20	1	0.10	-	-
宮崎県	21	1.91	14	1.27	5	0.45	4	0.36	18	2.57	4	0.57	-	-
鹿児島県	34	2.13	7	0.44	6	0.38	17	1.06	9	0.75	-	-	-	-
沖縄県	41	3.42	1	0.08	5	0.42	3	0.25	17	2.43	1	0.14	-	-

注)8月25日集計分

新登録患者数・都道府県別

平成16年7月

	結核
	報告数
総数	2742
北海道	99
青森県	20
岩手県	24
宮城県	43
秋田県	14
山形県	10
福島県	32
茨城県	48
栃木県	47
群馬県	25
埼玉県	144
千葉県	145
東京都	309
神奈川県	160
新潟県	44
富山県	19
石川県	13
福井県	22
山梨県	7
長野県	24
岐阜県	51
静岡県	92
愛知県	163
三重県	37
滋賀県	25
京都府	57
大阪府	349
兵庫県	152
奈良県	34
和歌山県	23
鳥取県	19
島根県	12
岡山県	38
広島県	33
山口県	25
徳島県	19
香川県	14
愛媛県	29
高知県	17
福岡県	102
佐賀県	28
長崎県	31
熊本県	31
大分県	17
宮崎県	18
鹿児島県	40
沖縄県	37



33週のデータ

注)表中の報告数は8月19日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年33週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42	29	313	2	38	2	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	7	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	15	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	24	-	3	-	5	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	1	71	-	10	-	12	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	3	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	-	2	1	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	3	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	1	1	1	4	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	33	-	3	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	15	1	4	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	9	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	11	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	201	2096	6	358	-	19	-	-	-	31	-	-	2	179
北海道	-	-	-	-	4	36	-	6	-	19	-	-	-	1	-	-	1	7
青森県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	3	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	14	70	1	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	2	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	1	22	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	14	38	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	7	55	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	4	84	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	10	166	1	84	-	-	-	-	-	2	-	-	1	34
神奈川県	-	-	-	-	16	48	2	21	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	4	160	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	2	28	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	5	32	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	7	43	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	11	92	-	34	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	28	62	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	1	16	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	37	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	5	131	1	36	-	-	-	-	-	6	-	-	-	19
兵庫県	-	-	-	-	5	95	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	1	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	3	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	2	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	10	131	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	5	43	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	2	52	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	4	57	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	7	90	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	1	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	62	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	9	52	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	3	23	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	6	2	103	1	37	11	700	-	2	3	53	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	1	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	24	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	32	-	-	-	5	-	-
東京都	-	1	-	-	-	5	-	9	-	5	2	270	-	-	1	15	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	44	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	27	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	1	24	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	2	44	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	1	69	-	-	1	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	13	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	11	-	-	1	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	17	-	5	-	-	-	97	3	16	2	25	-	1	5	303	-	58
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	3
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	2	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	4	-	2	
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	3	
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	7	-	2	
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	3	11	-	-	-	-	42	-	1	
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	9	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	3	-	3	
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	7	-	2	
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	20	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	10	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	1	-	1	
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	2	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	6	-	1	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	9	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	6	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	14	-	2	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-	
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	1	2	-	-	4	-	3	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	1	4	-	5
沖縄県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	2	37	-	1	1	86
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	11
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	21	-	-	1	97	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	1	43	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	1	5	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年33週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2	0.00	1732	0.57	1294	0.43	5760	1.91	1488	0.49	2936	0.97	465	0.15	1984	0.66	36	0.01
北海道	-	-	200	1.40	79	0.55	124	0.87	103	0.72	403	2.82	21	0.15	68	0.48	-	-
青森県	-	-	20	0.48	6	0.14	42	1.00	33	0.79	12	0.29	3	0.07	27	0.64	-	-
岩手県	-	-	40	1.08	8	0.22	47	1.27	26	0.70	15	0.41	10	0.27	15	0.41	2	0.05
宮城県	-	-	45	0.76	28	0.47	147	2.49	27	0.46	17	0.29	14	0.24	59	1.00	-	-
秋田県	-	-	16	0.46	13	0.37	58	1.66	16	0.46	4	0.11	4	0.11	19	0.54	-	-
山形県	-	-	8	0.27	15	0.50	45	1.50	15	0.50	3	0.10	4	0.13	17	0.57	-	-
福島県	-	-	24	0.50	32	0.67	131	2.73	37	0.77	10	0.21	4	0.08	43	0.90	3	0.06
茨城県	-	-	45	0.61	26	0.35	58	0.78	43	0.58	38	0.51	10	0.14	24	0.32	1	0.01
栃木県	-	-	17	0.37	4	0.09	44	0.96	17	0.37	7	0.15	4	0.09	22	0.48	-	-
群馬県	-	-	51	0.82	32	0.52	97	1.56	46	0.74	8	0.13	15	0.24	38	0.61	-	-
埼玉県	-	-	125	0.83	60	0.40	251	1.66	76	0.50	80	0.53	38	0.25	101	0.67	2	0.01
千葉県	-	-	71	0.57	32	0.26	172	1.39	45	0.36	65	0.52	30	0.24	86	0.69	1	0.01
東京都	-	-	37	0.26	15	0.11	218	1.54	29	0.20	74	0.52	24	0.17	70	0.49	2	0.01
神奈川県	-	-	54	0.26	37	0.18	292	1.43	47	0.23	157	0.77	23	0.11	116	0.57	1	0.00
新潟県	-	-	51	0.85	29	0.48	66	1.10	32	0.53	56	0.93	5	0.08	42	0.70	1	0.02
富山県	-	-	17	0.59	33	1.14	103	3.55	9	0.31	44	1.52	13	0.45	26	0.90	-	-
石川県	-	-	9	0.31	14	0.48	87	3.00	8	0.28	28	0.97	12	0.41	12	0.41	-	-
福井県	-	-	58	2.64	11	0.50	142	6.45	26	1.18	41	1.86	1	0.05	16	0.73	-	-
山梨県	-	-	7	0.28	14	0.56	44	1.76	13	0.52	13	0.52	3	0.12	12	0.48	-	-
長野県	-	-	41	0.75	30	0.55	102	1.85	35	0.64	145	2.64	8	0.15	52	0.95	-	-
岐阜県	-	-	28	0.53	9	0.17	60	1.13	23	0.43	18	0.34	7	0.13	22	0.42	1	0.02
静岡県	-	-	46	0.53	32	0.37	230	2.67	51	0.59	75	0.87	4	0.05	64	0.74	1	0.01
愛知県	-	-	75	0.41	62	0.34	248	1.36	66	0.36	74	0.41	28	0.15	126	0.69	2	0.01
三重県	-	-	29	0.64	15	0.33	195	4.33	28	0.62	44	0.98	8	0.18	46	1.02	1	0.02
滋賀県	-	-	-	-	5	0.15	2	0.06	6	0.18	-	-	-	-	6	0.18	1	0.03
京都府	-	-	16	0.21	8	0.11	199	2.62	37	0.49	62	0.82	4	0.05	27	0.36	1	0.01
大阪府	-	-	81	0.42	75	0.38	285	1.46	88	0.45	140	0.72	38	0.19	118	0.61	2	0.01
兵庫県	1	0.01	37	0.29	79	0.62	223	1.74	61	0.48	174	1.36	17	0.13	87	0.68	2	0.02
奈良県	-	-	17	0.49	17	0.49	61	1.74	24	0.69	20	0.57	4	0.11	16	0.46	-	-
和歌山県	-	-	12	0.39	3	0.10	54	1.74	59	1.90	15	0.48	6	0.19	29	0.94	-	-
鳥取県	-	-	10	0.53	20	1.05	73	3.84	6	0.32	2	0.11	1	0.05	18	0.95	-	-
島根県	-	-	5	0.22	3	0.13	85	3.70	9	0.39	5	0.22	4	0.17	22	0.96	-	-
岡山県	-	-	28	0.52	25	0.46	103	1.91	23	0.43	20	0.37	4	0.07	23	0.43	1	0.02
広島県	-	-	16	0.22	10	0.14	87	1.19	6	0.08	11	0.15	4	0.05	18	0.25	1	0.01
山口県	-	-	38	0.78	44	0.90	151	3.08	15	0.31	41	0.84	6	0.12	45	0.92	-	-
徳島県	-	-	18	0.78	13	0.57	49	2.13	8	0.35	4	0.17	7	0.30	12	0.52	-	-
香川県	-	-	5	0.16	12	0.38	78	2.44	22	0.69	9	0.28	2	0.06	22	0.69	2	0.06
愛媛県	-	-	38	0.97	39	1.00	144	3.69	19	0.49	63	1.62	-	-	36	0.92	-	-
高知県	-	-	52	1.68	14	0.45	49	1.58	11	0.35	31	1.00	4	0.13	20	0.65	-	-
福岡県	-	-	37	0.31	91	0.76	353	2.94	66	0.55	343	2.86	31	0.26	111	0.93	4	0.03
佐賀県	-	-	16	0.70	13	0.57	22	0.96	22	0.96	65	2.83	7	0.30	23	1.00	-	-
長崎県	-	-	12	0.27	14	0.32	79	1.80	22	0.50	66	1.50	5	0.11	31	0.70	-	-
熊本県	-	-	49	1.00	22	0.45	136	2.78	20	0.41	50	1.02	8	0.16	51	1.04	1	0.02
大分県	-	-	23	0.64	35	0.97	189	5.25	10	0.28	149	4.14	5	0.14	37	1.03	-	-
宮崎県	-	-	60	1.62	45	1.22	132	3.57	42	1.14	76	2.05	7	0.19	52	1.41	1	0.03
鹿児島県	-	-	21	0.38	36	0.64	193	3.45	39	0.70	107	1.91	7	0.13	37	0.66	1	0.02
沖縄県	1	0.02	27	0.79	35	1.03	10	0.29	22	0.65	52	1.53	1	0.03	20	0.59	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年33週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	21	0.01	3593	1.19	35	0.01	2325	0.77	8	0.01	465	0.75	4	0.01	41	0.09	104	0.22
北海道	-	-	312	2.18	-	-	72	0.50	-	-	20	0.69	-	-	-	-	9	0.39
青森県	1	0.02	133	3.17	-	-	27	0.64	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	70	1.89	-	-	15	0.41	-	-	22	1.83	-	-	2	0.10	2	0.10
宮城県	-	-	189	3.20	4	0.07	16	0.27	-	-	1	0.09	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	148	4.23	-	-	6	0.17	-	-	2	0.29	-	-	-	-	6	0.86
山形県	-	-	78	2.60	-	-	36	1.20	-	-	11	1.38	-	-	-	-	9	0.90
福島県	1	0.02	133	2.77	4	0.08	31	0.65	-	-	6	0.50	-	-	1	0.14	6	0.86
茨城県	3	0.04	63	0.85	-	-	31	0.42	-	-	18	1.13	-	-	-	-	4	0.36
栃木県	1	0.02	38	0.83	-	-	11	0.24	-	-	9	0.75	-	-	4	0.57	-	-
群馬県	-	-	82	1.32	-	-	61	0.98	1	0.07	35	2.50	-	-	1	0.10	11	1.10
埼玉県	2	0.01	178	1.18	-	-	195	1.29	-	-	25	0.81	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.03	131	1.06	-	-	113	0.91	-	-	24	0.83	-	-	1	0.11	-	-
東京都	1	0.01	144	1.01	-	-	44	0.31	-	-	13	0.93	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	-	-	192	0.94	-	-	106	0.52	1	0.03	23	0.58	-	-	1	0.08	-	-
新潟県	-	-	135	2.25	2	0.03	61	1.02	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	94	3.24	-	-	10	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	14	0.48	-	-	6	0.21	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	15	0.68	-	-	28	1.27	-	-	2	0.67	2	0.33	-	-	-	-
山梨県	-	-	31	1.24	1	0.04	6	0.24	-	-	1	0.33	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	159	2.89	-	-	28	0.51	-	-	4	0.36	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	-	-	45	0.85	-	-	79	1.49	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	116	1.35	8	0.09	82	0.95	-	-	8	0.40	-	-	1	0.10	1	0.10
愛知県	1	0.01	108	0.59	2	0.01	211	1.16	-	-	30	0.86	-	-	1	0.08	4	0.31
三重県	-	-	66	1.47	-	-	33	0.73	1	0.08	12	1.00	-	-	-	-	5	0.56
滋賀県	-	-	5	0.15	1	0.03	7	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.43
京都府	-	-	30	0.39	8	0.11	40	0.53	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	102	0.52	1	0.01	223	1.14	-	-	23	0.47	-	-	2	0.13	1	0.07
兵庫県	1	0.01	97	0.76	-	-	94	0.73	-	-	11	0.31	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	1	0.03	32	0.91	-	-	19	0.54	-	-	1	0.11	-	-	4	0.67	2	0.33
和歌山県	-	-	32	1.03	-	-	73	2.35	-	-	-	-	-	-	1	0.09	-	-
鳥取県	-	-	12	0.63	-	-	2	0.11	-	-	2	0.67	1	0.20	1	0.20	-	-
島根県	-	-	46	2.00	-	-	12	0.52	-	-	-	-	-	-	9	1.13	2	0.25
岡山県	1	0.02	42	0.78	-	-	31	0.57	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	2	0.40
広島県	-	-	30	0.41	-	-	8	0.11	-	-	3	0.15	-	-	5	0.26	-	-
山口県	-	-	83	1.69	-	-	49	1.00	-	-	3	0.33	-	-	-	-	10	1.11
徳島県	-	-	15	0.65	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	15	0.47	-	-	32	1.00	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	47	1.21	-	-	54	1.38	1	0.14	14	2.00	-	-	2	0.33	-	-
高知県	-	-	64	2.06	-	-	7	0.23	1	0.33	6	2.00	-	-	1	0.11	4	0.44
福岡県	-	-	73	0.61	-	-	199	1.66	-	-	20	0.77	1	0.07	-	-	5	0.33
佐賀県	-	-	14	0.61	-	-	66	2.87	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	29	0.66	-	-	14	0.32	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	40	0.82	-	-	25	0.51	-	-	8	0.89	-	-	1	0.07	-	-
大分県	-	-	59	1.64	-	-	18	0.50	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	29	0.78	-	-	9	0.24	-	-	9	2.25	-	-	-	-	4	0.57
鹿児島県	-	-	19	0.34	-	-	17	0.30	-	-	7	1.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	4	0.12	4	0.12	15	0.44	2	0.20	43	4.30	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年33週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	8	0.02	-	-	19
北海道	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1
福島県	3	0.43	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	1	0.14	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.11	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	2
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	...
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	10

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第33号 平成16年8月27日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。